町田市の食育推進計画づくりに関する アンケート調査 報告書

2013年12月町田市

目 次

I 調査の概要				
П	調査	C結果 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
]	1.成	ሊ	4	
	問1	食育の認知度	. 4	
	問2	食育への関心度	. 5	
	問3	食育に関心がある理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6	
	問4	食中毒予防の3原則「つけない、ふやさない、やっつける」		
		の周知度・実践度	. 7	
	問5	食や食育に関する情報の入手先	. 8	
	問6	食や食育に関して知りたい情報	. 8	
	問7	安全な食生活を送るために知りたい情報	9	
	問8	平日の「朝、起きる時間」と「夜、寝る時間」	10	
	問9	ふだん朝食を食べている人の割合	12	
	問 10	朝食を食べない最も大きな理由	13	
	問 11	平日の夕食開始時間	14	
	問 12	中食の利用頻度	15	
	問 13	外食の利用頻度	16	
	問 14	ふだん誰と食事をするか	17	
	問 15	ふだんの食事時間が楽しいか	23	
	問 16	食事の際に、守るように気をつけているマナー	24	
	問 17	ふだんの食事で食べる野菜料理の量	25	
	問 18	日頃の健全な食生活を実践するため、参考にしている指針等	28	
	問 19	主食・主菜・副菜をそろえて食べることが一日に2回以上ある日数	29	
	問 20	自分の健康状態	30	
	問 21	メタボリックシンドロームの予防や改善のために、		
		ふだんの生活で心がけていること	31	
	問 22	メタボリックシンドロームの予防や改善のために、		
		①適切な食事、②定期的な運動、③週に複数回の体重測定の		
		いずれかを実践している割合	32	
	問 23	メタボリックシンドロームの予防や改善のために、		
		現在も継続して実践していること	33	
	問 24	地産地消の認知度	34	
	問 25	町田産農産物(野菜・たまご・肉・乳製品など)を意識して購入している人		
		の割合	35	
	問 26	町田産農産物シンボルマーク「まち☆ベジ」を知っている人の割合	36	
	問 27	自宅で、行事食を伴う伝統的な行事を行う回数(年間)	37	
	問 28	近所付き合いの頻度	38	

問 2	9 ボランティアへの参加意向	40
問 3	0 参加してみたいと思う食育に関するボランティア活動	41
問3	1 飲食店など事業者に取り組んでほしいこと	41
問 3	2 市に重点的に取り組んでほしいこと	42
問 3	3 性別	43
問 3	4 年齢	43
問 3	5 居住地区	44
問 3	6 職業	44
問3	7 家族構成	45
o "	7.2#-W	4.0
2.19	R護者	46
問1	子どもが平日の「朝、起きる時間」と「夜、寝る時間」	46
問2		
問3		
問4		
問5		
問6		
問7	子どもがふだん食事をする相手	53
問8	子どもが食事時間を楽しんでいるか	59
問 9	保護者は食事時間が楽しいか・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	60
問 1	0 保護者の食育の認知度	61
問1	1 保護者の食育への関心度	62
問 1	2 子どもが食事の際に、守るように気をつけているマナー	63
問 1	3 子どもに食事のマナーを教えている保護者の割合	64
問 1	4 子どもに食に対する感謝の心を教えている保護者の割合	65
問 1	5 子どもにさせている食事の手伝い	66
問1	6 子どもがふだんの食事で食べる野菜料理の量	67
問1	7 家庭での健全な食生活を実践するため、保護者が参考にしている指針等	70
問 1	8 子どもの健康状態	71
問 1	9 子どもの健康のために、ふだんの生活で気をつけていること	72
問 2	0 子どもの地産地消の認知度	73
問 2	77.027.	
問 2	2 町田産農産物(野菜・たまご・肉・乳製品など)を意識して購入している例	呆護
	者の割合	75
問 2	3 町田産農産物シンボルマーク「まち☆ベジ」を知っている保護者の割合	76
間 2	- 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7	
問 2		
問 2	17 H 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
問 2		
問 2		
	9・30 子どもの年齢、在園・在学先	
問3		
問 3	2 保護者の年齢	82

		居住地区	
	間 35	子どもの人数	84
Ш	調査	票	86

I. 調査の概要

1 調査目的

食育に対する市民の意識を把握し、「町田市食育推進計画」の基礎資料とするとともに、今後の食育の取組の検討に活用することを目的とする。

2 調査項目

- ・食育に関する関心や知識等について
- ・食生活や健康に関する意識と実践について
- ・地産地消や行事食の実践度と食育に関わる地域での活動について
- ・調査対象者の属性について

3 調査対象及び方法

調査票区分	対象	配布内訳	配布・回収方法
成人用	成人	1,500	20歳以上の市民を対象として、「住民基本台帳」か
			ら 1,500 人を無作為抽出し、郵送配布・回収
保護者用	幼児(4歳児)保護者	300	幼児・小学校低学年・小学校高学年・中学生・高校
	小学校低学年 (小学2年生) 保護者	300	生の5階級に区分する。それぞれから1学年を対象
	小学校高学年 (小学5年生) 保護者	300	として、「住民基本台帳」から300人ずつ無作為抽
	中学生(中学2年生)保護者	300	出し、保護者宛に郵送配布・回収
	高校生(高校2年生)保護者	300	
合計		3,000	

4 調査時期

2012年11月21日(水)~2012年12月10日(月)

5 回収結果

	成人用	保護者用	総計
配布数	1,500 通	1,500 通	3,000 通
回収数	776 通	863 通	1,639 通
回収率	51.7%	57. 5%	54.6%

6 本報告書を読む際の注意

- ●図表中の「n」は、設問への回答者数を示しています。
- ●回答は百分率で算出しています。小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が計に一致しないことがあります。なお、回答者を絞った設問では、設問該当者を100%としています。
- ●複数選択ができる設問では、設問該当者を基数として比率を算出しています。したがって、回答者比率の合計が100%を超えることがあります。
- ●選択肢の語句が長い場合、本文や図表中において簡略化した表現を用いている場合があります。

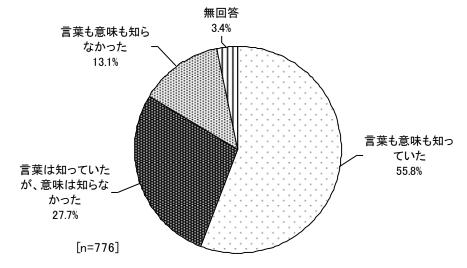
Ⅱ. 調査結果

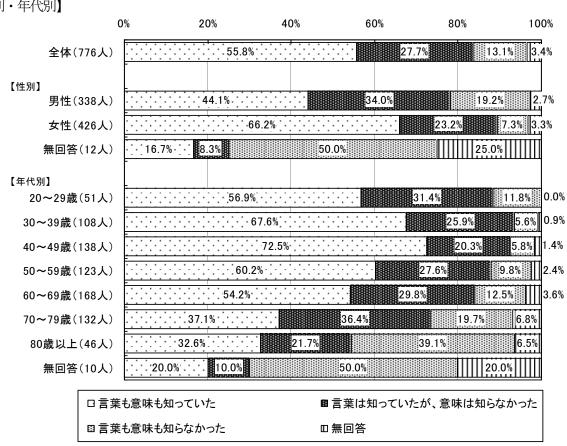
成人 1.

間1 食育の認知度

【全体】

「言葉も意味も知っていた」が55.8%、「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」が27.7%となっている。

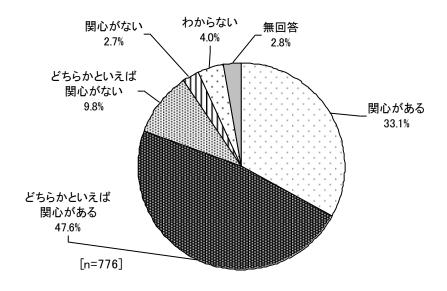


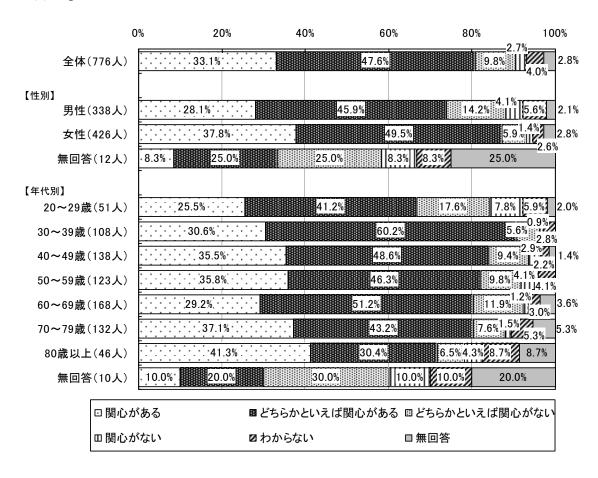


問2 食育への関心度

【全体】

「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合わせて、80.7%が食育に関心があると回答している。

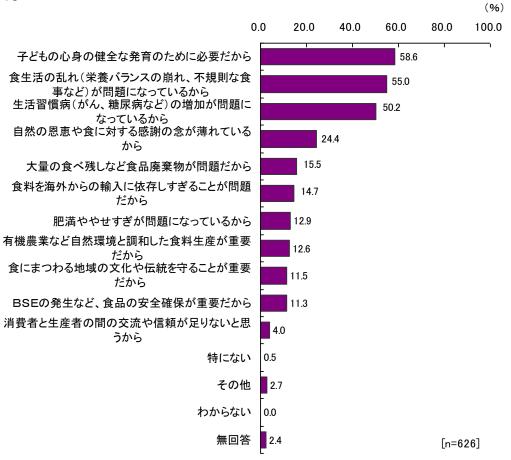




問3 食育に関心がある理由

【全体】

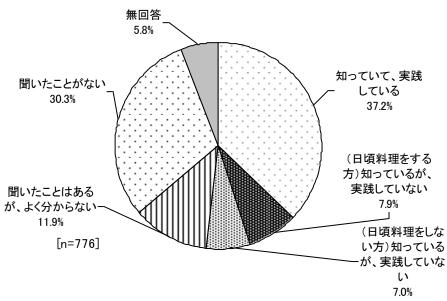
「子どもの心身の健全な発育のために必要だから」が58.6%、「食生活の乱れが問題になっているから」が55.0%となっている。

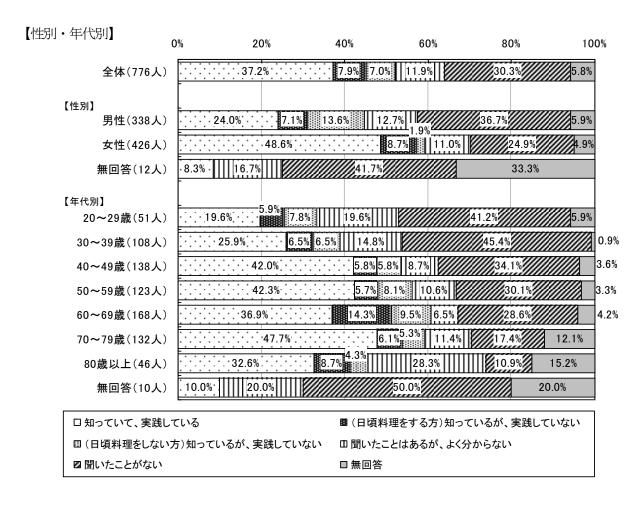


問4 食中毒予防の3原則「つけない、ふやさない、やっつける」の周知度・実践度

【全体】

「知っていて、実践している」が 37.2%、「聞いたことがない」が30.3% となっている。

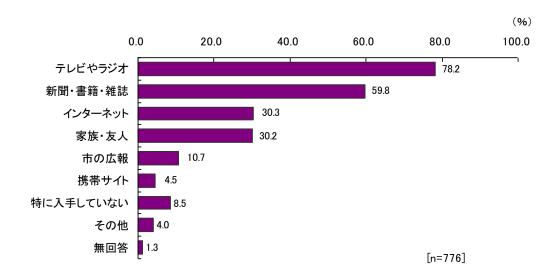




問5 食や食育に関する情報の入手先

【全体】

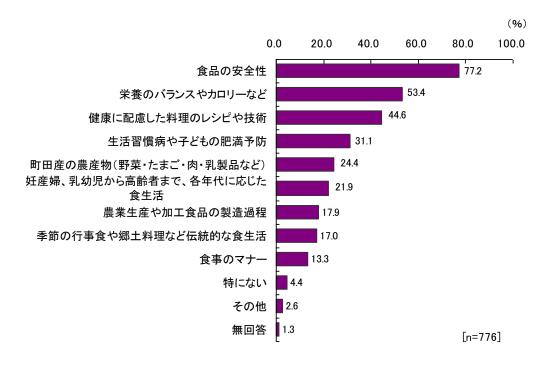
「テレビやラジオ」が 78.2%、「新聞・書籍・雑誌」が 59.8%、「インターネット」が 30.3%となっている。



問6 食や食育に関して知りたい情報

【全体】

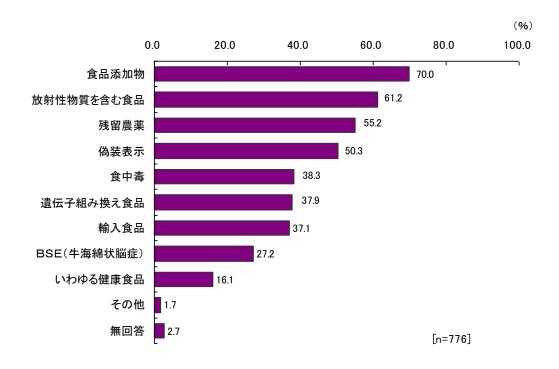
「食の安全性」が 77.2%、「栄養のバランスやカロリーなど」が 53.4%、「健康に配慮した料理のレシピや技術」 が 44.6%となっている。



問7 安全な食生活を送るために知りたい情報

【全体】

「食品添加物」が70.0%、「放射性物質を含む食品」が61.2%、「残留農薬」が55.2%となっている。

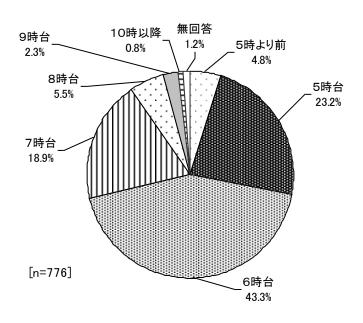


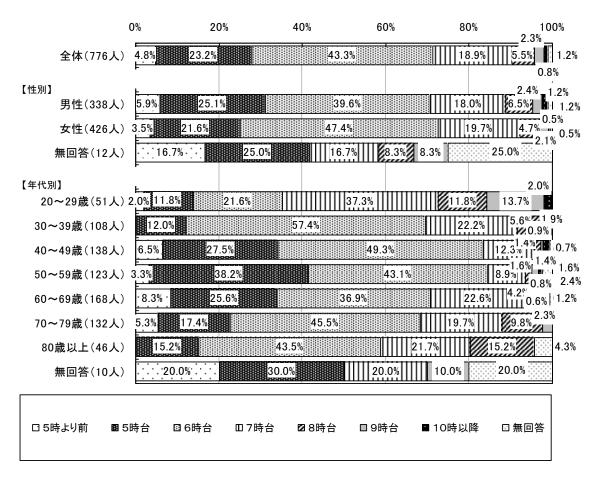
問8 平日の「朝、起きる時間」と「夜、寝る時間」

■起きる時間

【全体】

「6時台」が43.3%、「5時台」が23.2%、「7時台」が18.9%となっている。

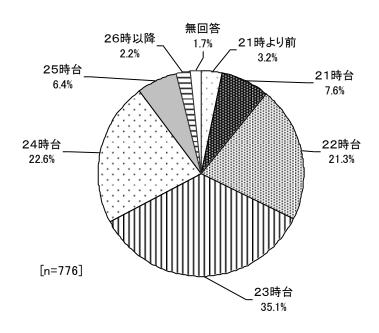


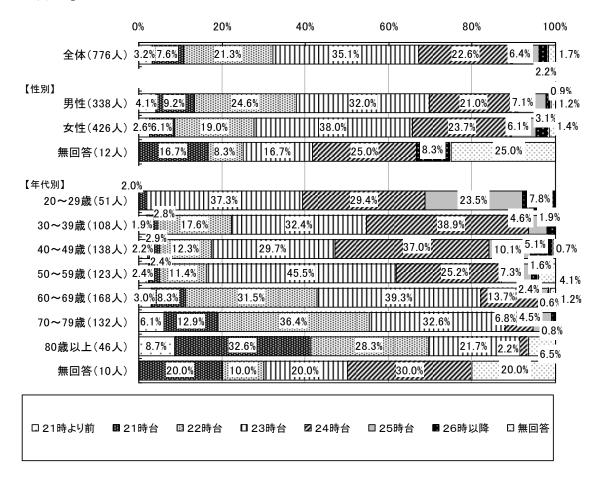


■寝る時間

【全体】

「23 時台」が35.1%、「24 時台」が22.6%、「22 時台」が21.3%となっている。

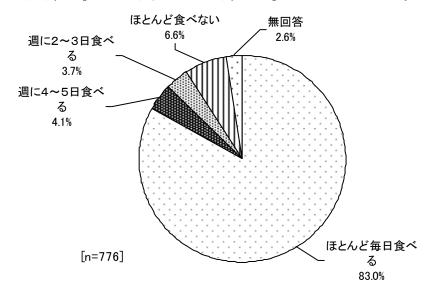




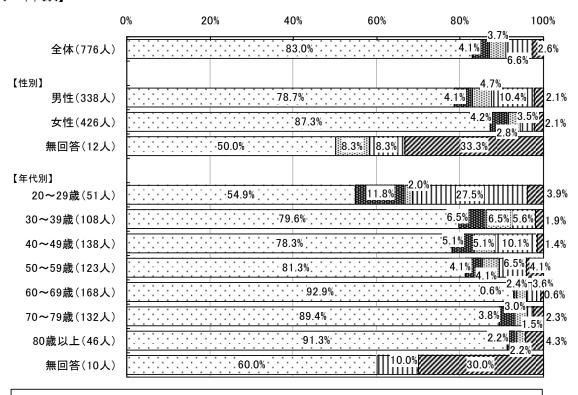
問9 ふだん朝食を食べている人の割合

【全体】

「ほとんど毎日食べる」が83.0%、「ほとんど食べない」が6.6%となっている。



【性別・年代別】

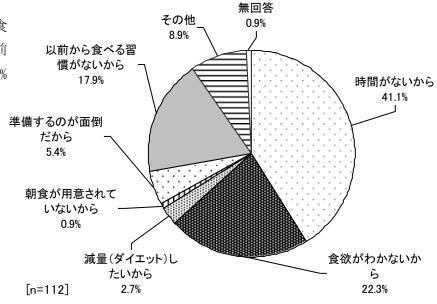


□ほとんど毎日食べる 図週に4~5日食べる 図週に2~3日食べる □ほとんど食べない 図無回答

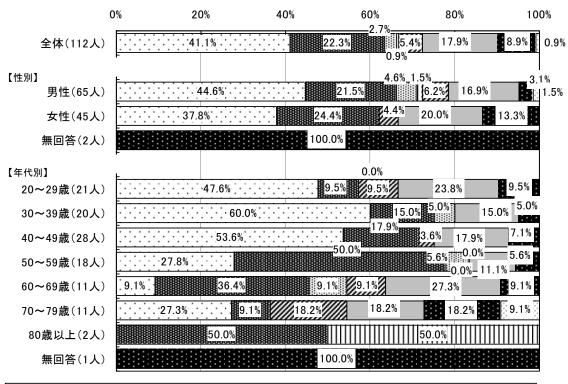
問10 朝食を食べない最も大きな理由

【全体】

「時間がないから」が 41.1%、「食 欲がわかないから」が 22.3%、「以前 から食べる習慣がないから」が 17.9% となっている。



【性別・年代別】

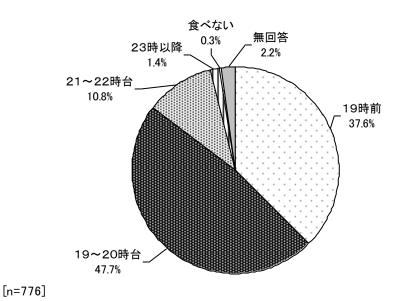


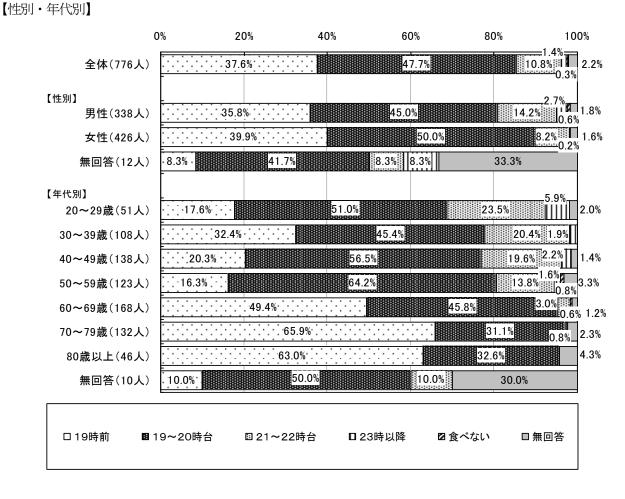
□時間がないから
 ■食欲がわかないから
 □朝食が用意されていないから
 □準備するのが面倒だから
 □以前から食べる習慣がないから
 ■その他
 □無回答

問11 平日の夕食開始時間

【全体】

「19~20時台」が47.7%、「19時前」が37.6%、「21~22時台」が10.8%となっている。

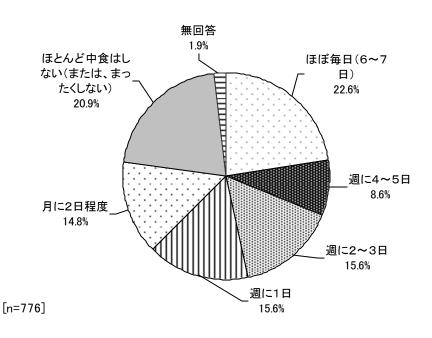


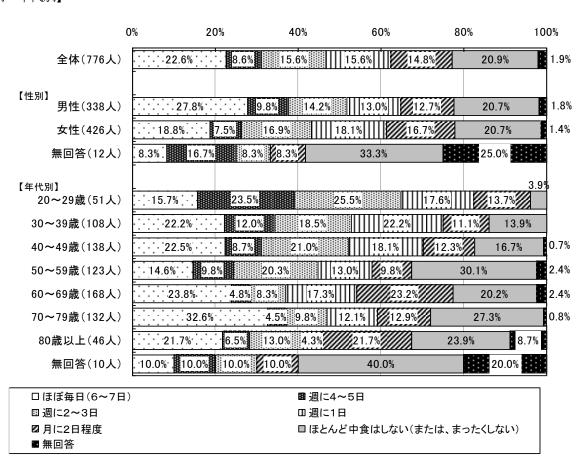


問12 中食の利用頻度

【全体】

「ほぼ毎日 (6~7日)」が22.6%、「ほとんど中食はしない(または、まったくしない)」が20.9%、「週に2~3日」「週に1日」が各々15.6%となっている。

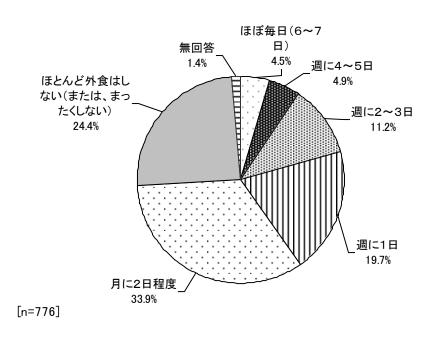


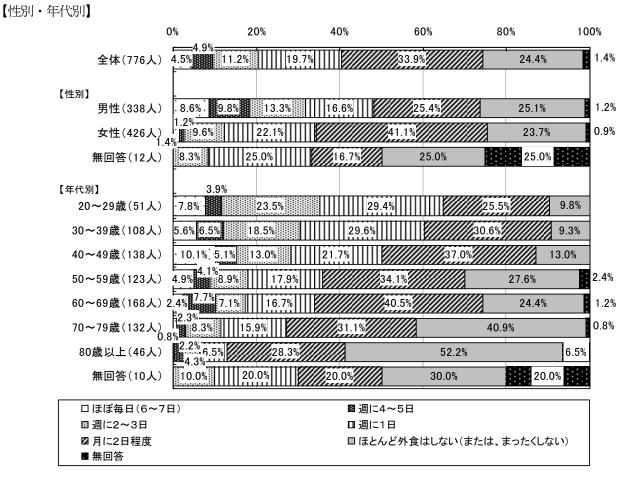


問13 外食の利用頻度

【全体】

「月に2日程度」が33.9%、「ほとんど外食はしない(または、まったくしない)」が24.4%、「週に1日」が19.7%となっている。



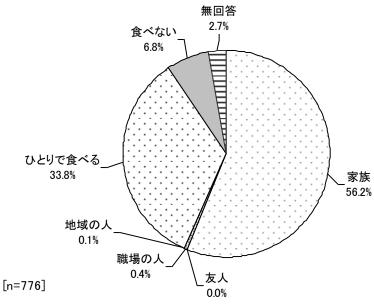


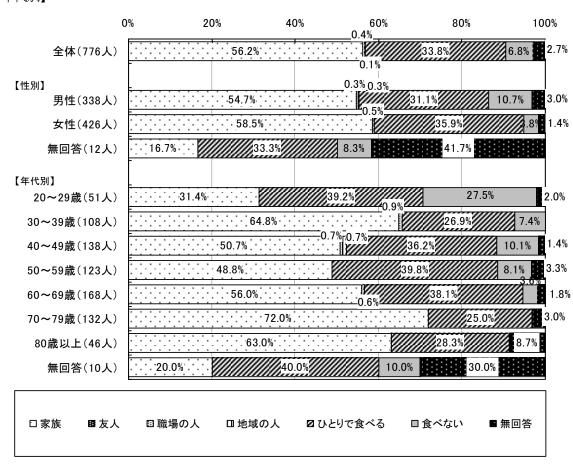
問14 ふだん誰と食事をするか

■平日の朝食

【全体】

「家族」が56.2%、「ひとりで食べる」が33.8%、「食べない」が6.8%となっている。

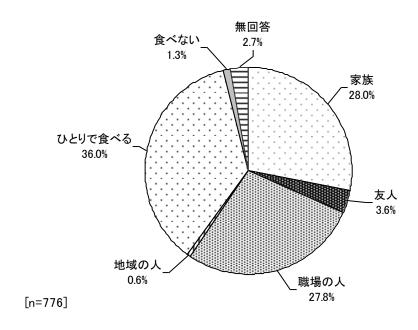


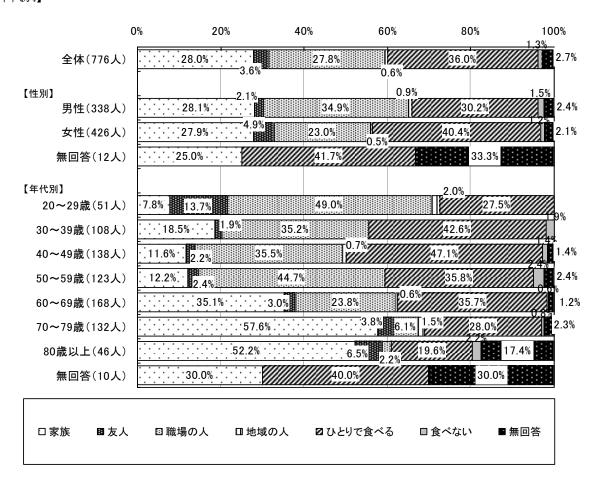


■平日の昼食

【全体】

「ひとりで食べる」が36.0%、「家族」が28.0%、「職場の人」が27.8%となっている。

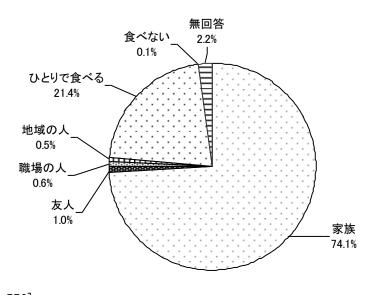




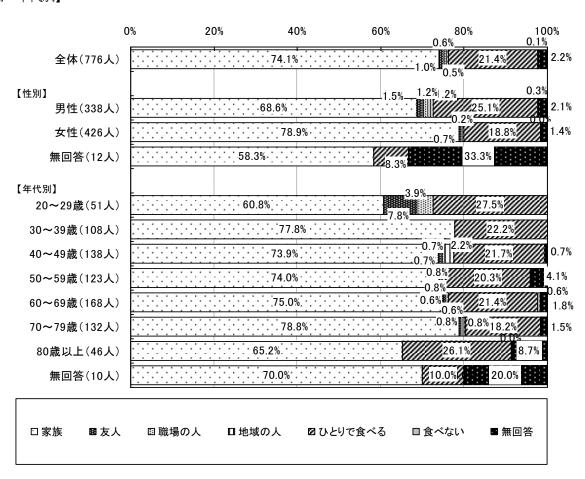
■平日の夕食

【全体】

「家族」が74.1%、「ひとりで食べる」が21.4%となっている。



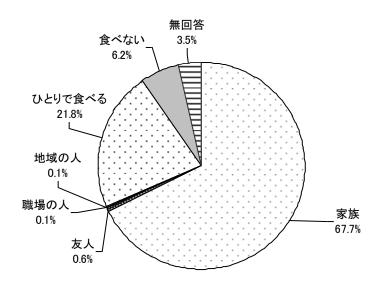
[n=776]



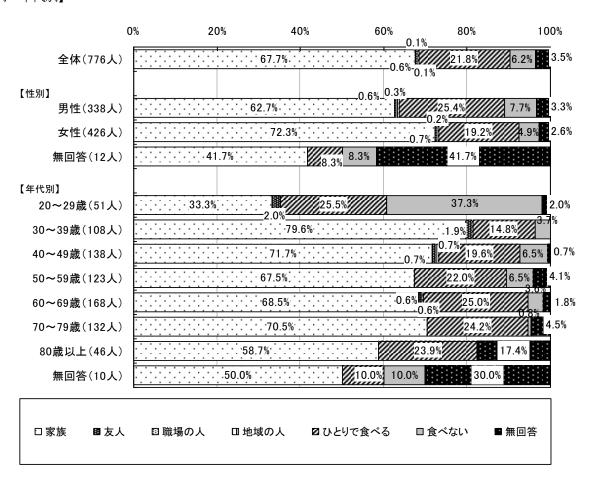
■休日の朝食

【全体】

「家族」が67.7%、「ひとりで食べる」が21.8%、「食べない」が6.2%となっている。



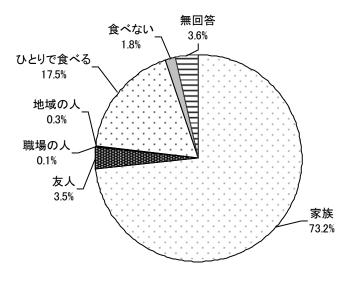
[n=776]



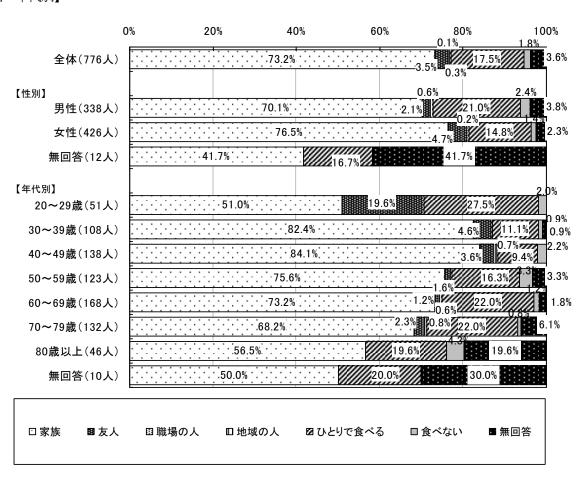
■休日の昼食

【全体】

「家族」が73.2%、「ひとりで食べる」が17.5%となっている。



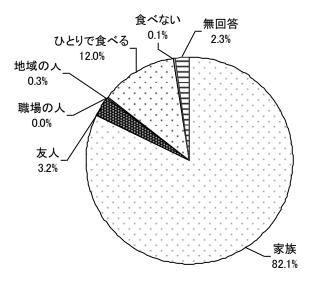
[n=776]



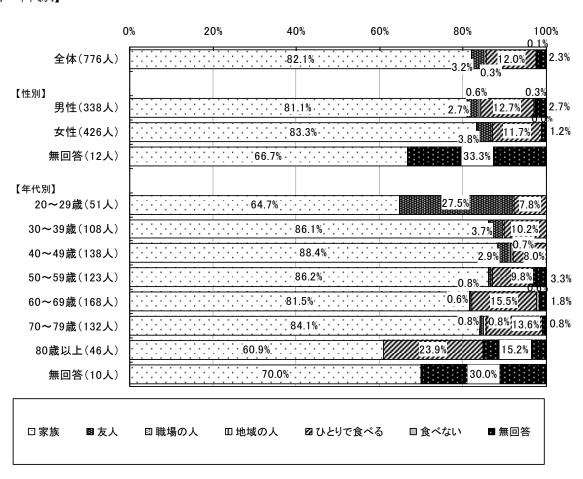
■休日の夕食

【全体】

「家族」が82.1%、「ひとりで食べる」が12.0%、「友人」が3.2%となっている。



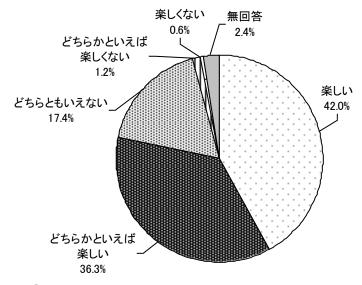
[n=776]



問15 ふだんの食事時間が楽しいか

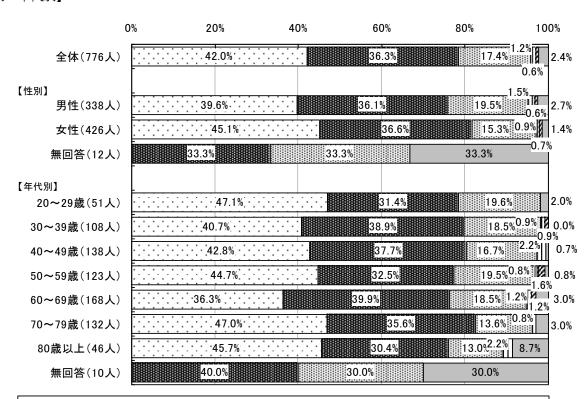
【全体】

「楽しい」が 42.0%、「どちらかと いえば楽しい」が 36.3%、「どちらと もいえない」が 17.4%となっている。



[n=776]

【性別・年代別】

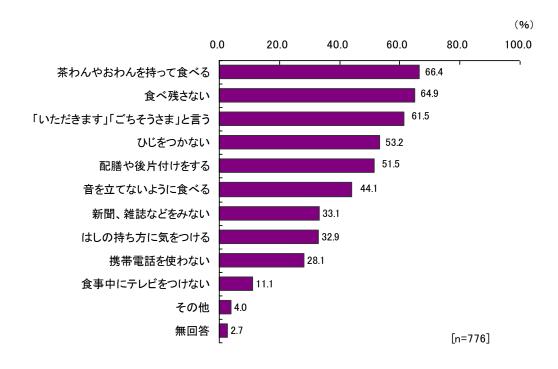


□楽しい ■どちらかといえば楽しい □どちらともいえない □どちらかといえば楽しくない □楽しくない □無回答

問16 食事の際に、守るように気をつけているマナー

【全体】

「茶わんやおわんを持って食べる」が 66.4%、「食べ残さない」が 64.9%、「「いただきます」「ごちそうさま」と言う」が 61.5%となっている。

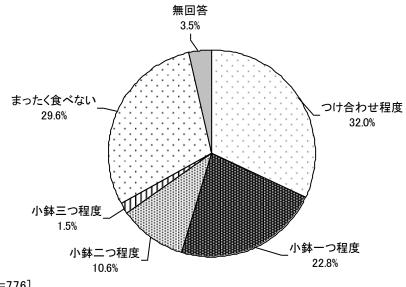


問17 ふだんの食事で食べる野菜料理の量

■朝食

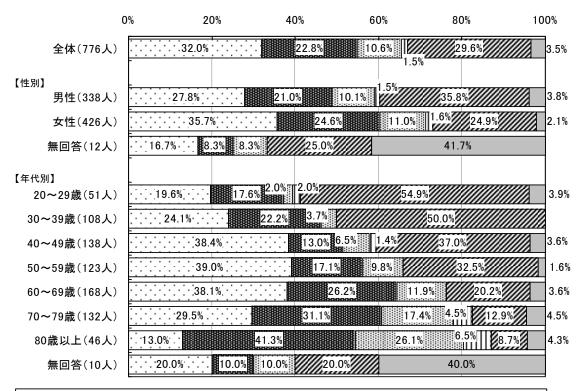
【全体】

「つけ合わせ程度」が32.0%、 「まったく食べない」が29.6% となっている。



[n=776]

【性別・年代別】

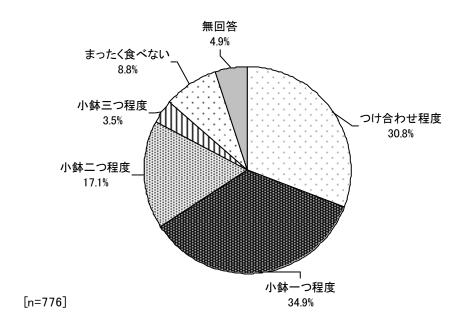


□つけ合わせ程度 ■小鉢一つ程度 □小鉢二つ程度 □小鉢三つ程度 □ホかく食べない □無回答

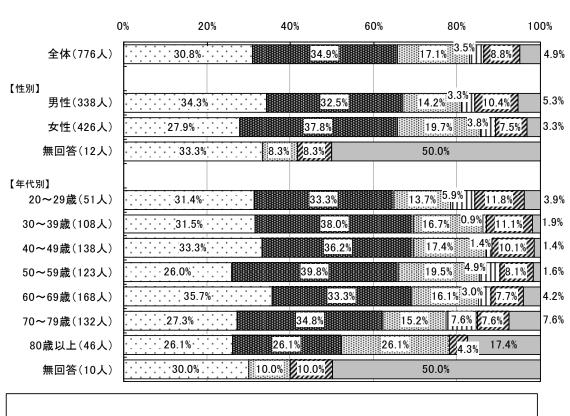
■昼食

【全体】

「小鉢一つ程度」が34.9%、「つけ合わせ程度」が30.8%、「小鉢二つ程度」が17.1%となっている。



【性別・年代別】

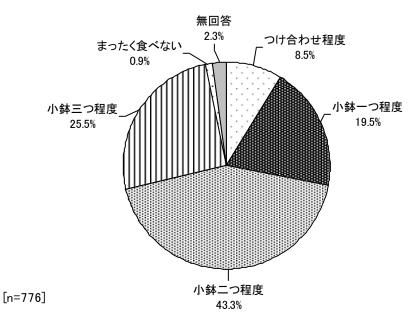


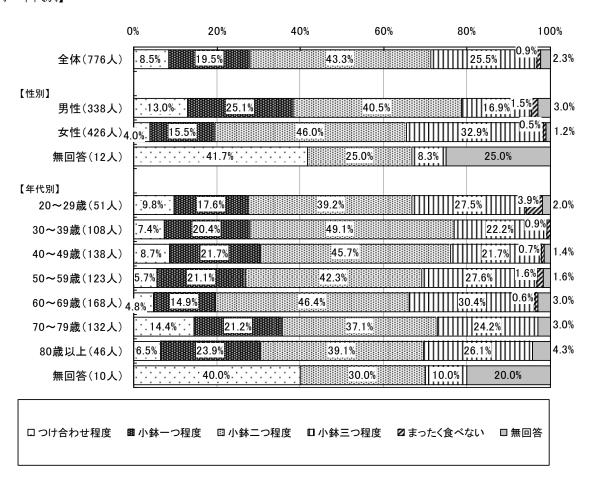
□つけ合わせ程度 ■小鉢一つ程度 □小鉢二つ程度 □小鉢三つ程度 2まったく食べない □無回答

■夕食

【全体】

「小鉢二つ程度」が43.3%、「小鉢三つ程度」が25.5%、「小鉢一つ程度」が19.5%となっている。

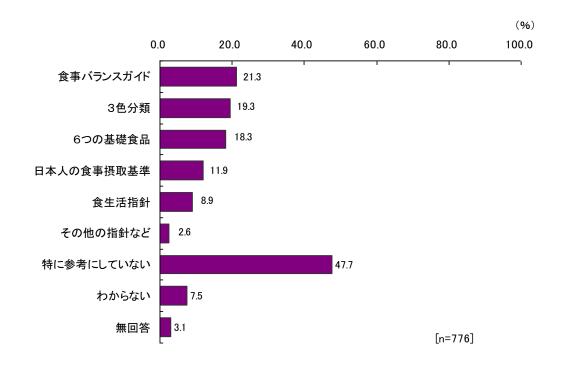




問18 日頃の健全な食生活を実践するため、参考にしている指針等

【全体】

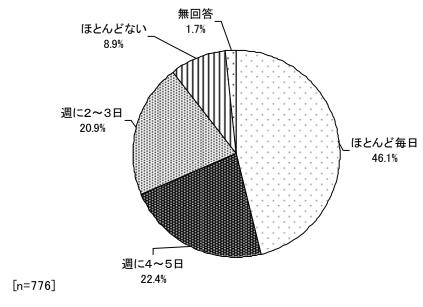
「特に参考にしていない」が47.7%、「食事バランスガイド」が21.3%、「3色分類」が19.3%となっている。

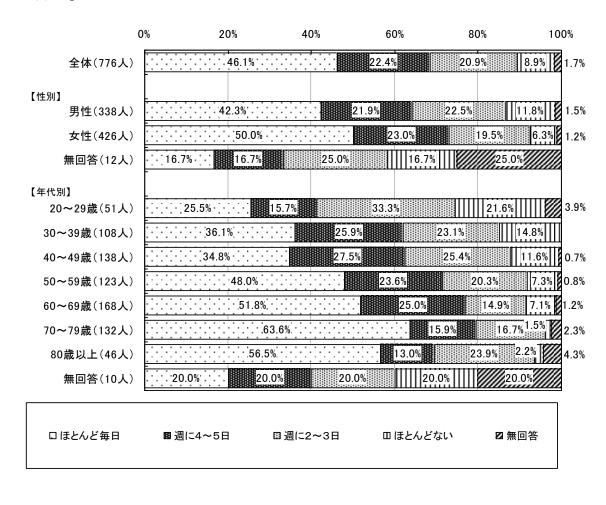


問19 主食・主菜・副菜をそろえて食べることが一日に2回以上ある日数

【全体】

「ほとんど毎日」が46.1%、「週に4~5日」が22.4%、「週に2~3日」が20.9%となっている。

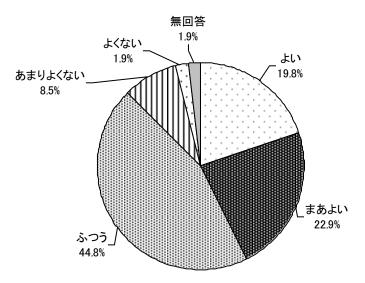




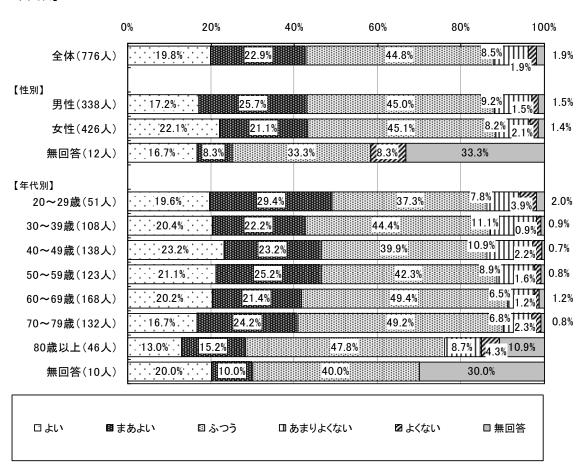
問20 自分の健康状態

【全体】

「よい」と「まあよい」を合わせて、 42.7%が健康状態がよいと回答している。



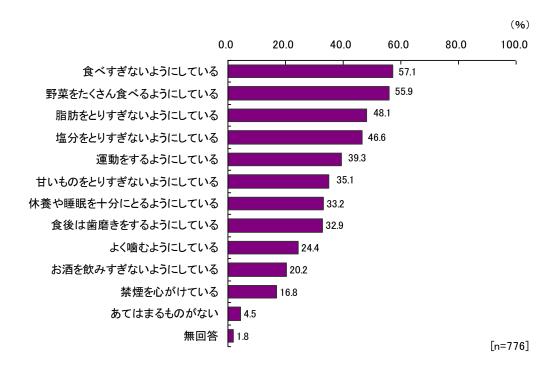
[n=776]



問21 メタボリックシンドロームの予防や改善のために、ふだんの生活で心がけていること

【全体】

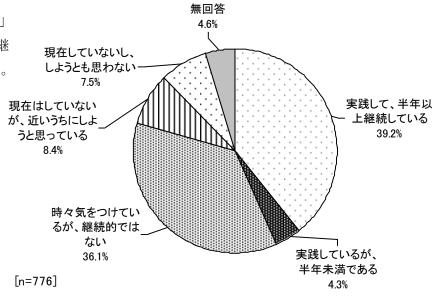
「食べすぎないようにしている」が 57.1%、「野菜をたくさん食べるようにしている」が 55.9%、「脂肪をとりすぎないようにしている」が 48.1%、「塩分をとりすぎないようにしている」が 46.6%となっている。

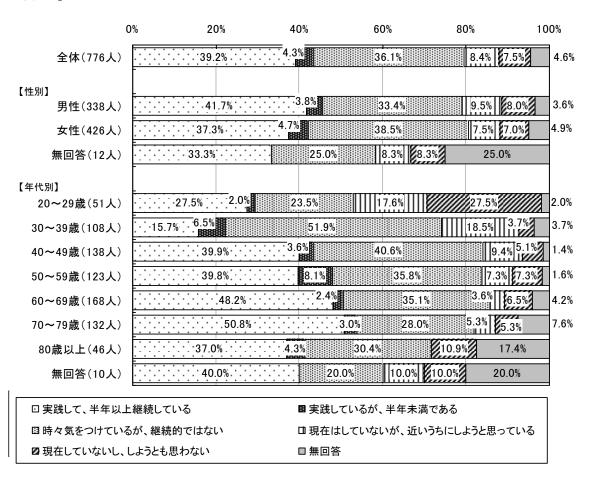


問 22 メタボリックシンドロームの予防や改善のために、①適切な食事、②定期的な運動、 ③週に複数回の体重測定のいずれかを実践している割合

【全体】

「実践して、半年以上継続している」 が 39.2%、「時々気をつけているが、継 続的ではない」が 36.1%となっている。

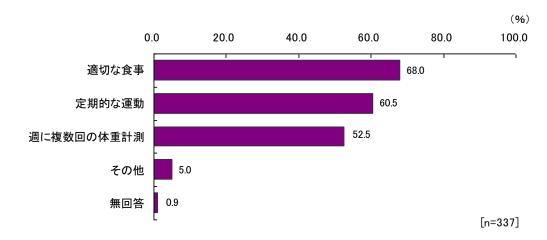




問23 メタボリックシンドロームの予防や改善のために、現在も継続して実践していること

【全体】

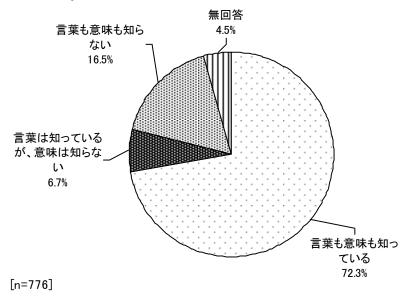
「適切な食事」が68.0%、「定期的な運動」が60.5%、「週に複数回の体重計測」が52.5%となっている。

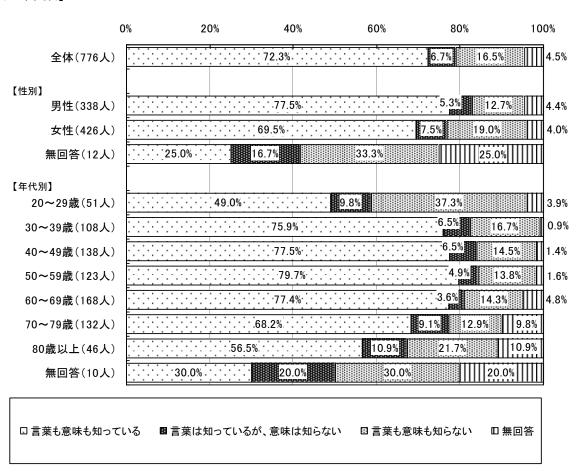


問24 地産地消の認知度

【全体】

「言葉も意味も知っている」が 72.3%、「言葉も意味も知らない」が 16.5%、「言葉は知っているが、意味は知らない」が 6.7%となっている。

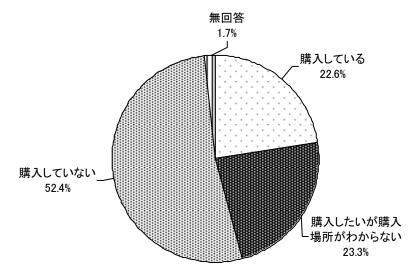




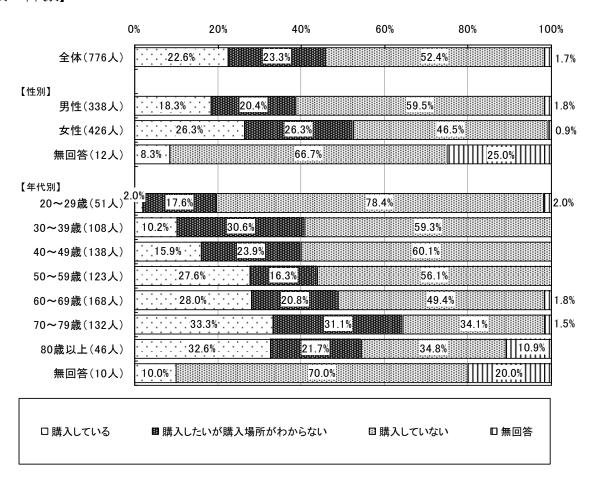
問25 町田産農産物(野菜・たまご・肉・乳製品など)を意識して購入している人の割合

【全体】

「購入していない」が52.4%、「購入したいが購入場所がわからない」が23.3%、「購入している」が22.6%となっている。



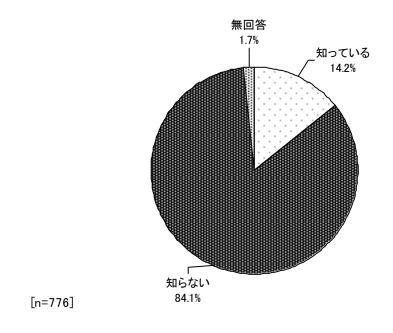
[n=776]

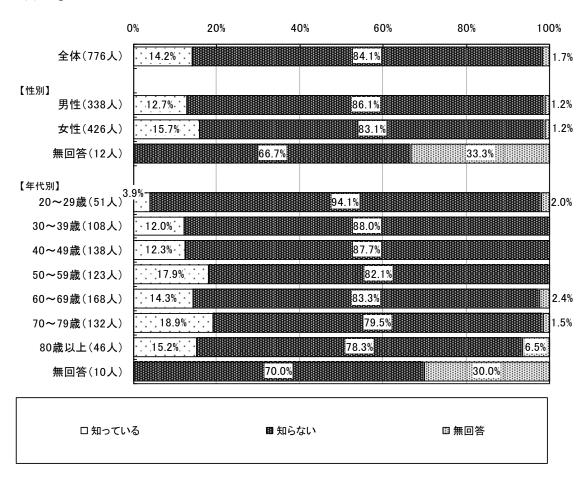


問26 町田産農産物シンボルマーク「まち☆ベジ」を知っている人の割合

【全体】

「知っている」が14.2%、「知らない」が84.1%となっている。

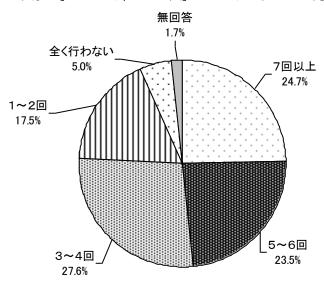




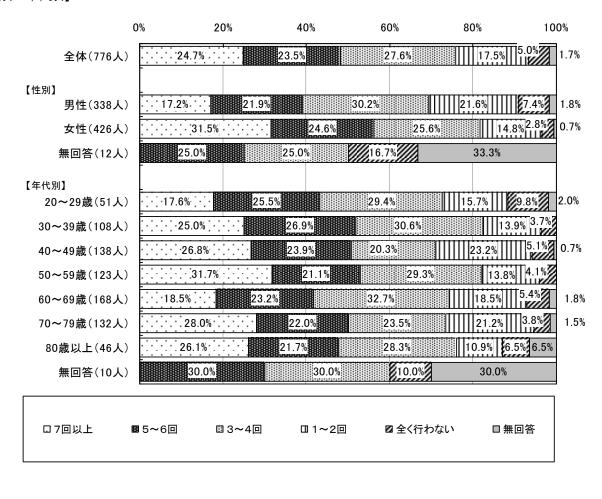
問27 自宅で、行事食を伴う伝統的な行事を行う回数(年間)

【全体】

「3~4回」が27.6%、「7回以上」が24.7%、「5~6回」が23.5%となっている。



[n=776]

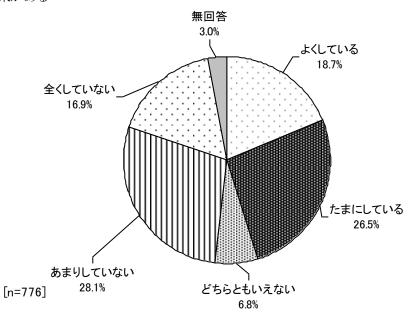


問28 近所付き合いの頻度

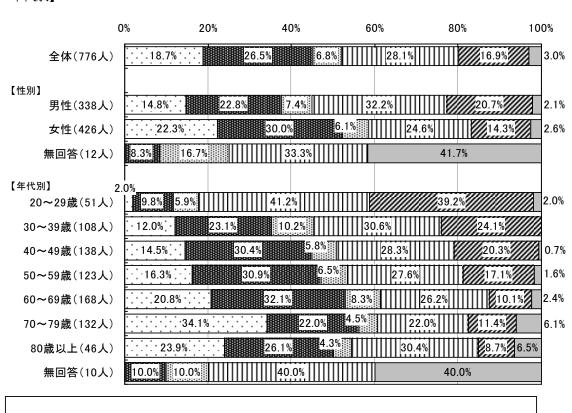
■近所付き合いなど地域の人々と行き来がある

【全体】

「あまりしていない」が 28.1%、 「たまにしている」が 26.5%、「よく している」が 18.7%となっている。



【性別・年代別】

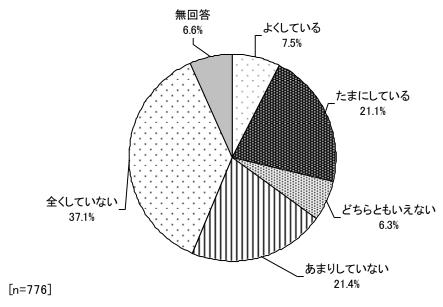


□よくしている 園たまにしている 図 どちらともいえない □ あまりしていない □ 全くしていない □ 無回答

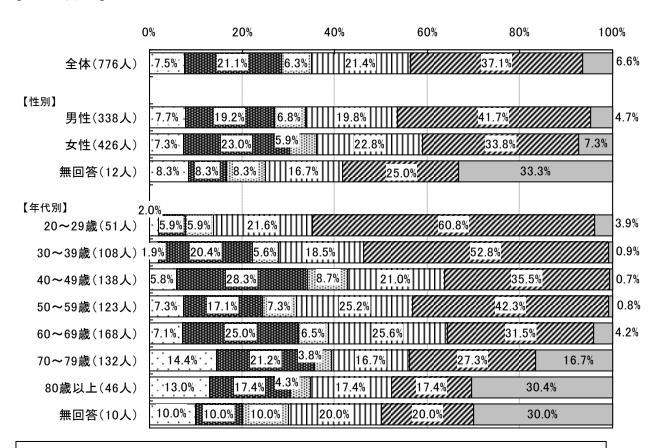
■地域の取組やイベント(食に関するものに限らない)に参加している

【全体】

「全くしていない」が37.1%、次いで「あまりしていない」が21.4%、「たまにしている」が21.1%となっている。



【性別・年代別】

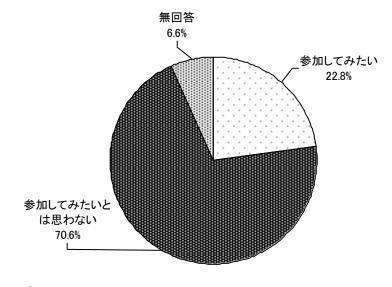


□よくしている ■たまにしている □どちらともいえない □あまりしていない □全くしていない □無回答

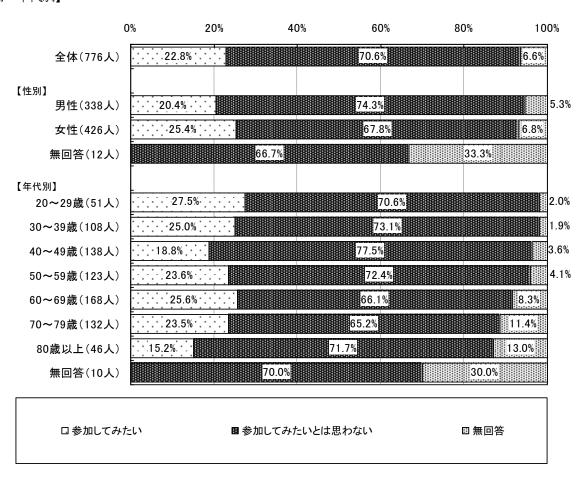
問29 ボランティアへの参加意向

【全体】

「参加してみたい」が22.8%、「参加してみたいとは思わない」が70.6%となっている。



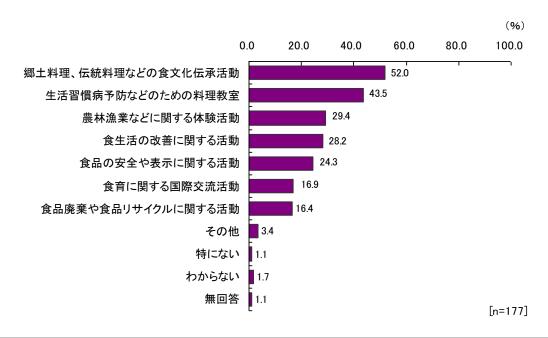
[n=776]



問30 参加してみたいと思う食育に関するボランティア活動

【全体】

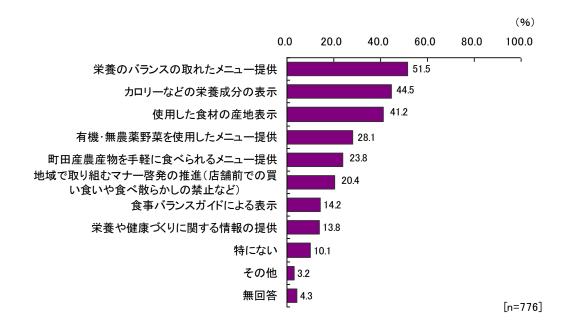
「郷土料理、伝統料理などの食文化伝承活動」が52.0%、「生活習慣病予防などのための料理教室」が43.5%となっている。



問31 飲食店など事業者に取り組んでほしいこと

【全体】

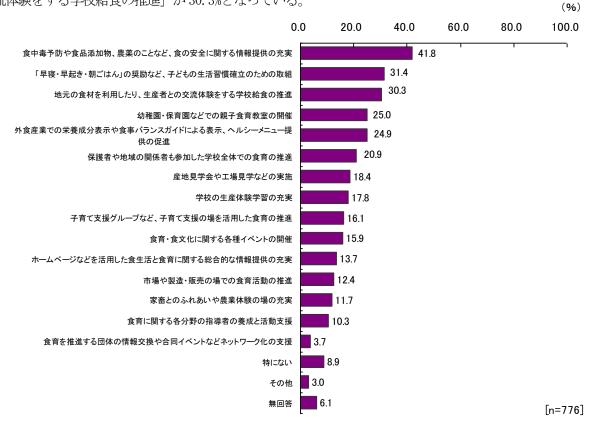
「栄養のバランスの取れたメニュー提供」が 51.5%、「カロリーなどの栄養成分の表示」が 44.5%、「使用した食材の産地表示」が 41.2%となっている。



間32 市に重点的に取り組んでほしいこと

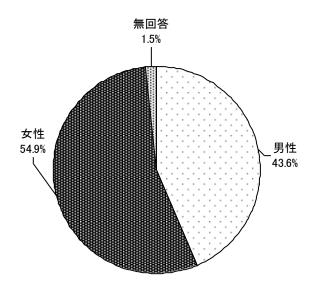
【全体】

「食中毒予防や食品添加物、農薬のことなど、食の安全に関する情報提供の充実」が 41.8%、「「早寝・早起き・朝ごはん」の奨励など、子どもの生活習慣確立のための取組」が 31.4%、「地元の食材を利用したり、生産者との交流体験をする学校給食の推進」が 30.3%となっている。



間 33 性別

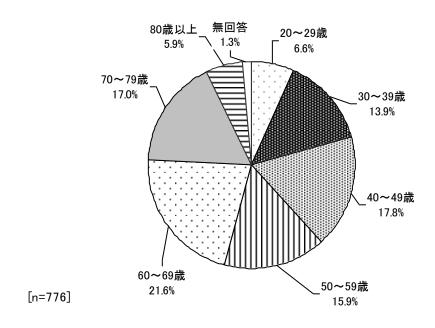
「男性」が43.6%、「女性」が54.9%となっている。



[n=776]

問34 年齢

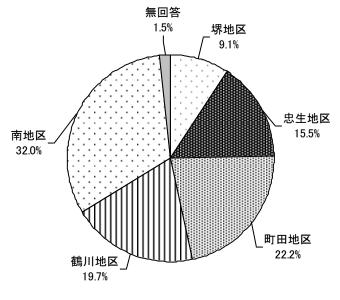
「60~69歳」が21.6%、「40~49歳」が17.8%、「70~79歳」が17.0%となっている。



問35 居住地区

【全体】

「南地区」が32.0%、「町田地区」が22.2%、「鶴川地区」が19.7%となっている。

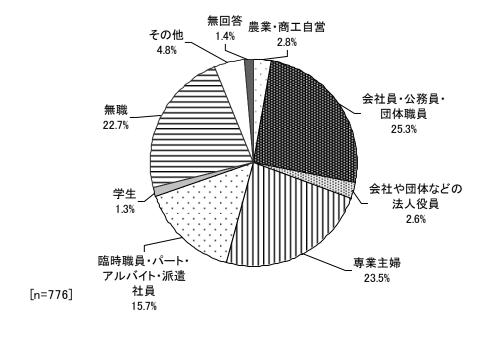


問36 職業

[n=776]

【全体】

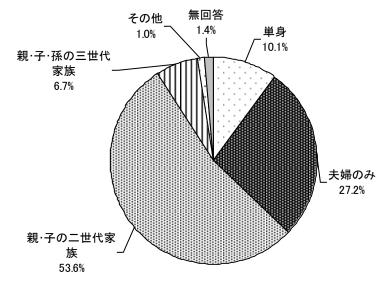
「会社員・公務員・団体職員」が25.3%、「専業主婦」が23.5%、「無職」が22.7%となっている。



問37 家族構成

【全体】

「親・子の二世代家族」が53.6%、「夫婦のみ」が27.2%、「単身」が10.1%となっている。



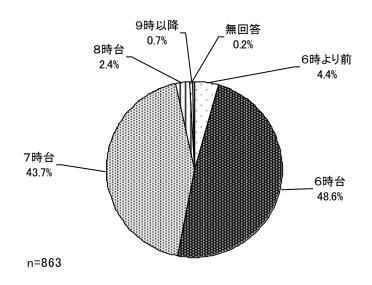
2. 保護者

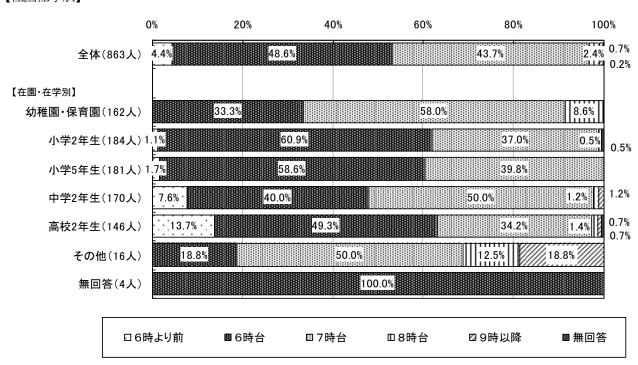
問1 子どもが平日の「朝、起きる時間」と「夜、寝る時間」

■起きる時間

【全体】

「6時台」が48.6%、「7時台」が43.7%となっている。

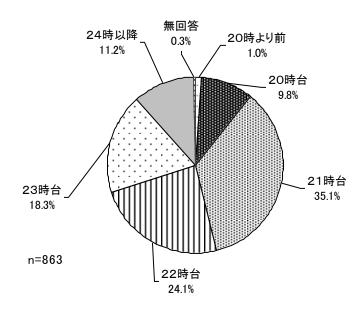


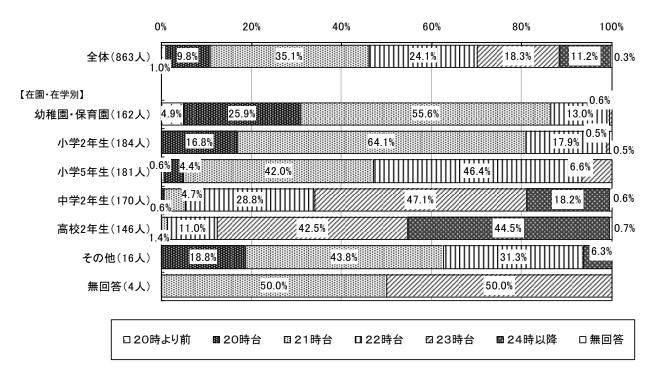


■寝る時間

【全体】

「21時台」が35.1%、「22時台」が24.1%となっている。

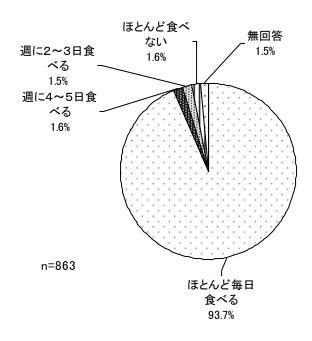




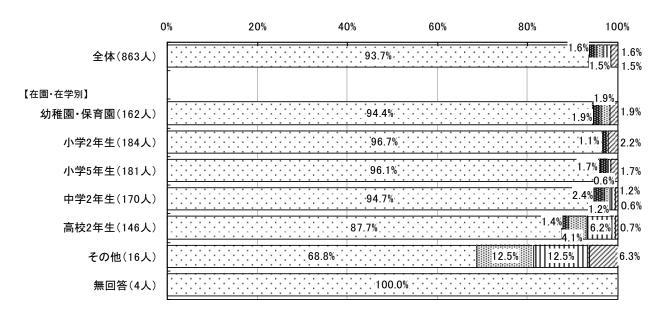
問2 ふだん朝食を食べている子どもの割合

【全体】

「ほとんど毎日食べる」が 93.7%、「週に $4\sim5$ 日食べる」「ほとんど食べない」が各々1.6%、「週に $2\sim3$ 日食べる」が 1.5%となっている。



【在園在学別】

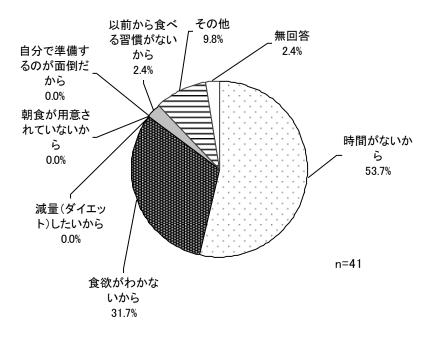


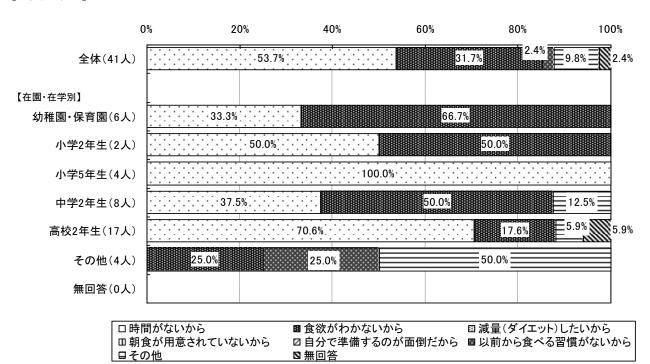
□ほとんど毎日食べる 🛮 週に4~5日食べる 🗈 週に2~3日食べる 🗎 ほとんど食べない 🗸 無回答

問3 子どもが朝食を食べない最も大きな理由

【全体】

「時間がないから」が53.7%、「食欲がわかないから」が31.7%となっている。

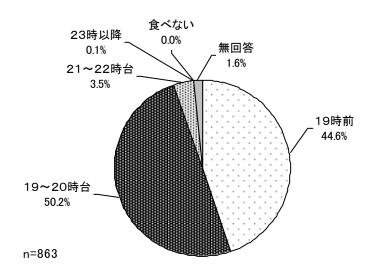


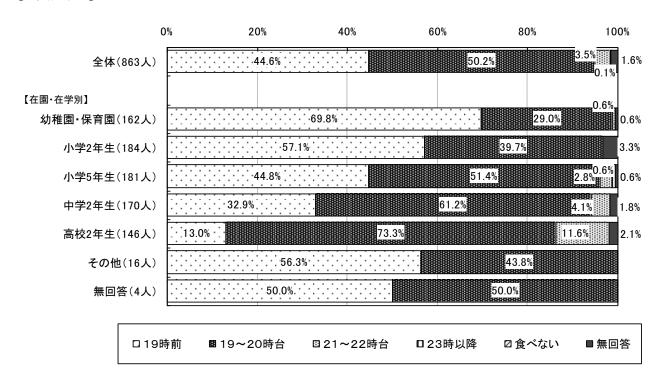


問4 子どもの平日の夕食開始時間

【全体】

「19~20時台」が50.2%、「19時前」が44.6%となっている。

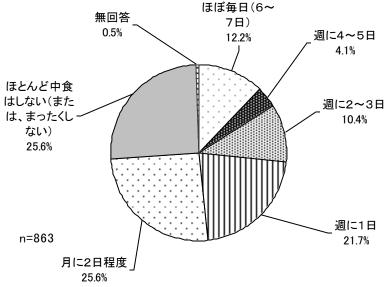


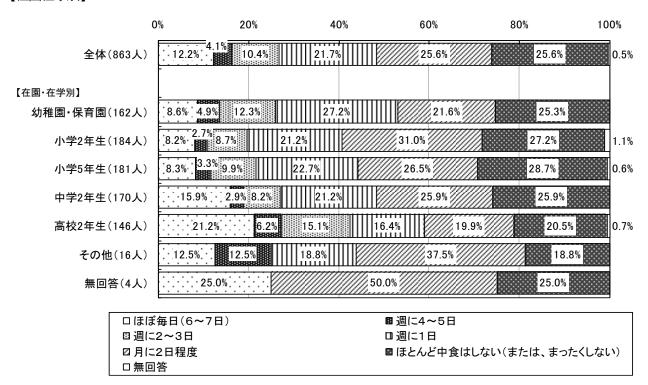


問5 子どもの中食の利用頻度

【全体】

「月に2日程度」「ほとんど中食はしない(または、まったくしない)」が各々25.6%、「週に1日」が 21.7%となっている。

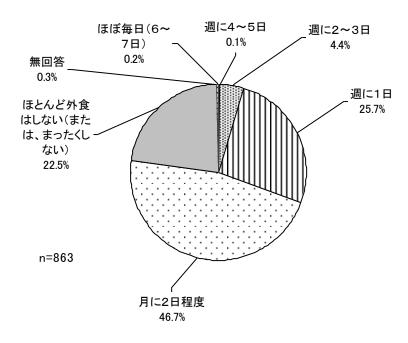


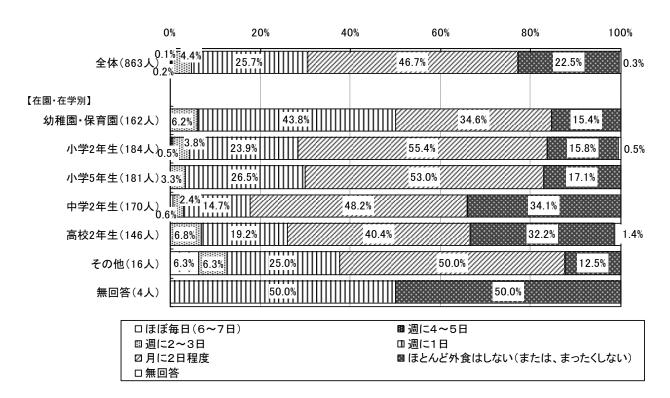


問6 子どもの外食の利用頻度

【全体】

「月に2日程度」が46.7%、「週に1日」が25.7%となっている。



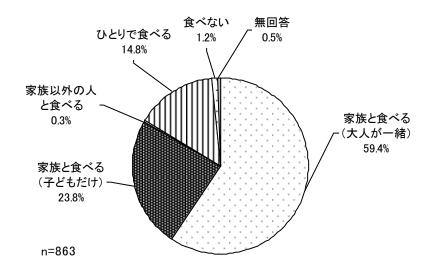


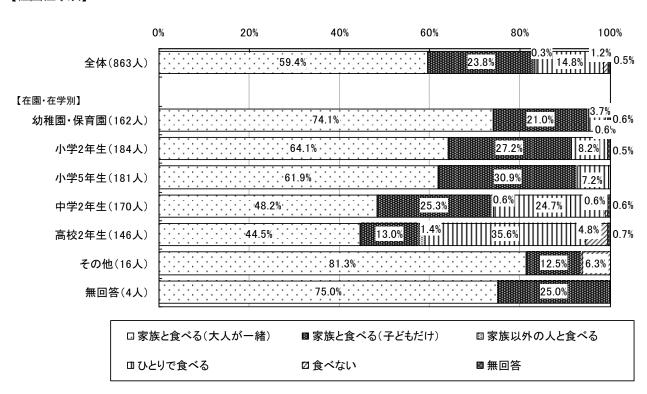
問7 子どもがふだん食事をする相手

■平日の朝食

【全体】

「家族と食べる (大人が一緒)」が59.4%、「家族と食べる (子どもだけ)」が23.8%となっている。

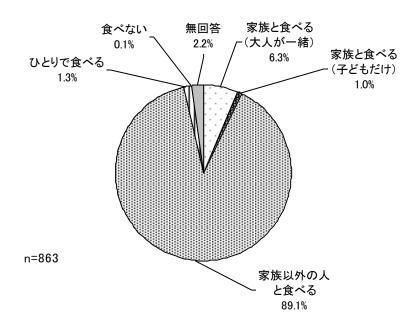


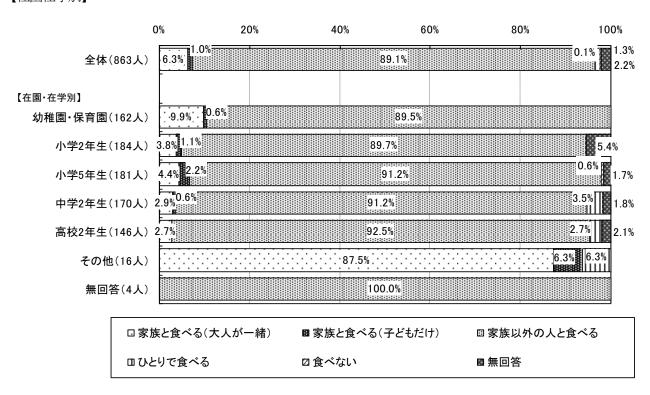


■平日の昼食

【全体】

「家族以外の人と食べる」が89.1%、「家族と食べる(大人が一緒)」が6.3%となっている。

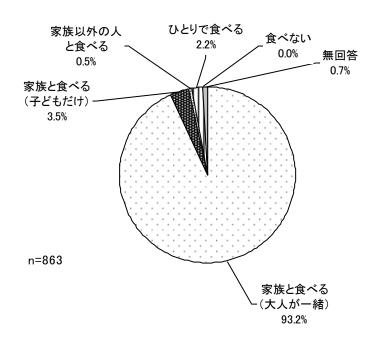


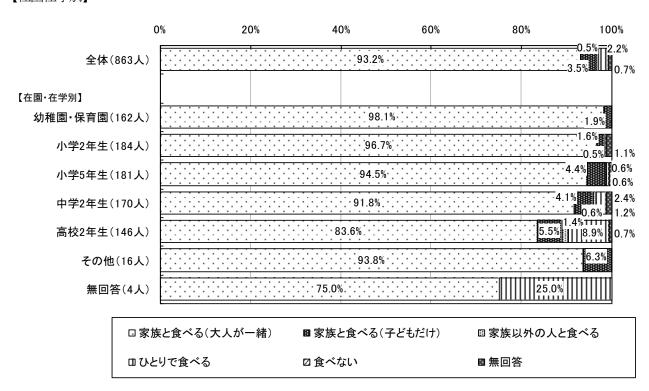


■平日の夕食

【全体】

「家族と食べる (大人が一緒)」が 93.2%、「家族と食べる (子どもだけ)」が 3.5%、「ひとりで食べる」が 2.2% となっている。

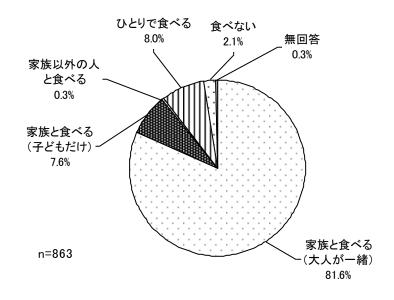


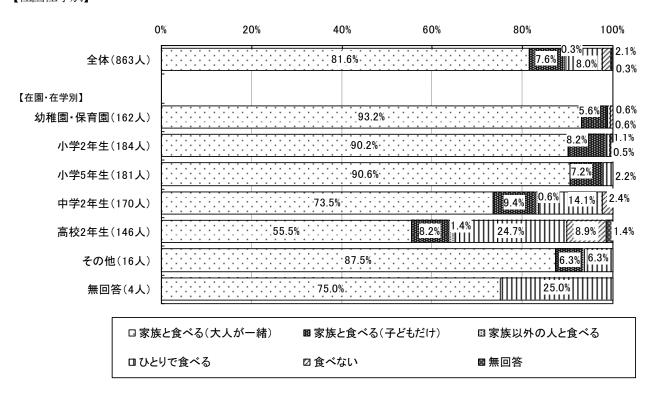


■休日の朝食

【全体】

「家族と食べる (大人が一緒)」が 81.6%、「ひとりで食べる」が 8.0%、「家族と食べる (子どもだけ)」が 7.6% となっている。

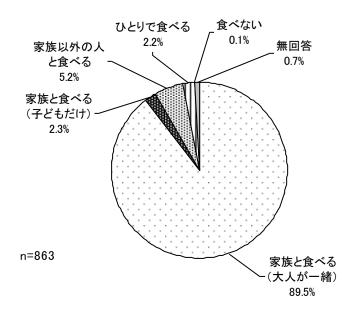


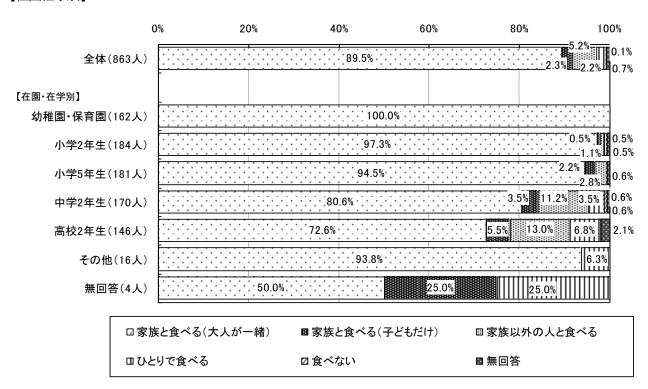


■休日の昼食

【全体】

「家族と食べる (大人が一緒)」が89.5%、「家族以外の人と食べる」が5.2%となっている。

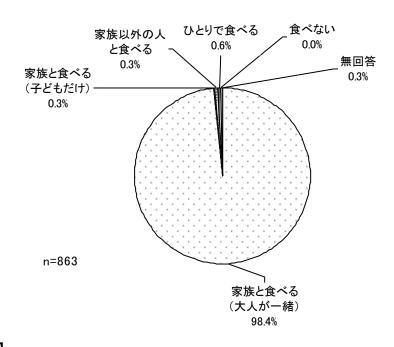


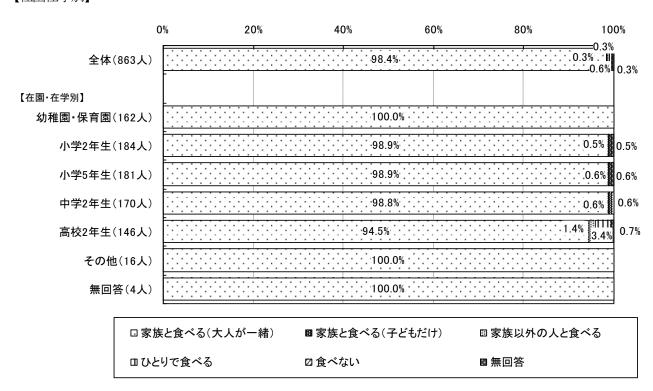


■休日の夕食

【全体】

「家族と食べる(大人が一緒)」が 98.4%、「ひとりで食べる」が 0.6%、「家族と食べる(子どもだけ)」「家族以外の人と食べる」が各々0.3%となっている。

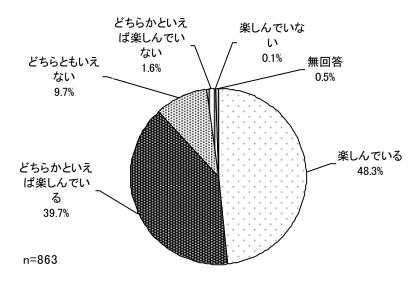




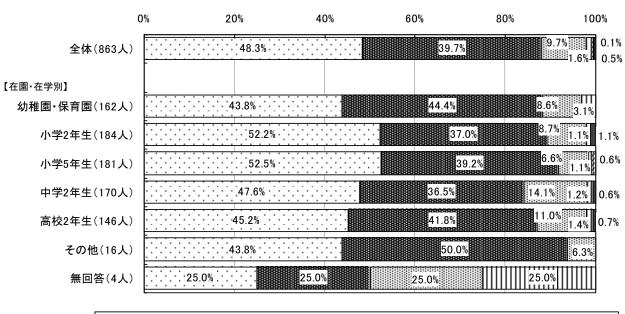
問8 子どもが食事時間を楽しんでいるか

【全体】

「楽しんでいる」が48.3%、「どちらかといえば楽しんでいる」が39.7%となっている。



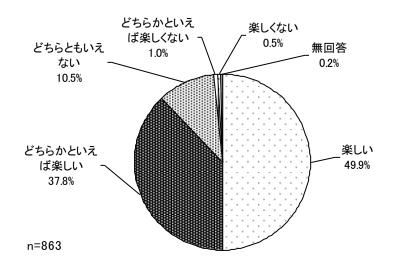
【在園在学別】



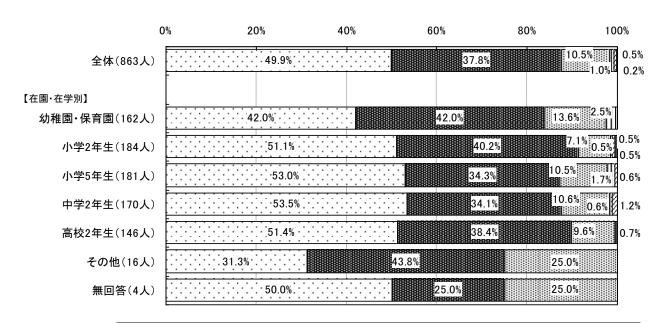
問9 保護者は食事時間が楽しいか

【全体】

「楽しい」が49.9%、「どちらかといえば楽しい」が37.8%となっている。



【在園在学別】

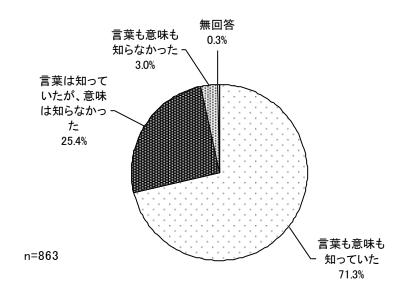


□楽しい■どちらかといえば楽しい どちらともいえない □ どちらかといえば楽しくない ❷楽しくない ■無回答

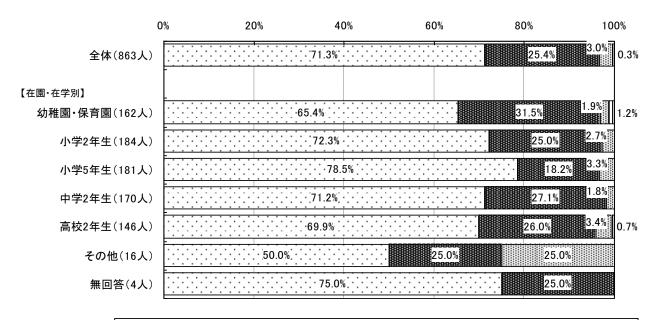
問10 保護者の食育の認知度

【全体】

「言葉も意味も知っていた」が71.3%、「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」が25.4%となっている。



【在園在学別】



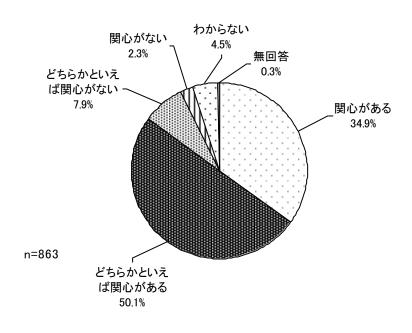
□ 言葉も意味も知っていた □ 言葉も意味も知らなかった

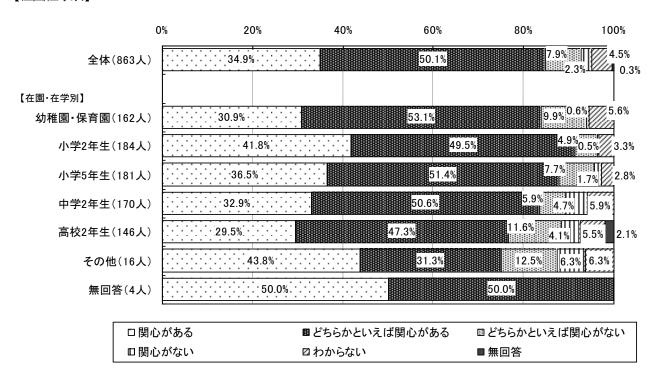
- ■言葉は知っていたが、意味は知らなかった
- □ 無回答

問11 保護者の食育への関心度

【全体】

「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合わせると、85.0%が食育に関心があると回答している。

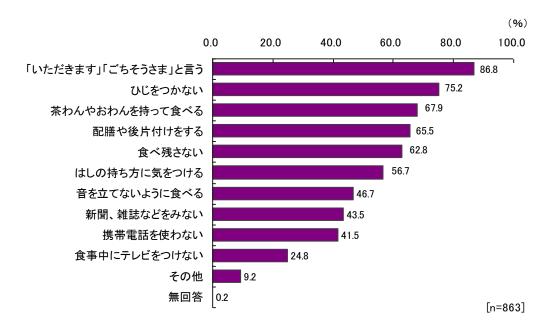




問12 子どもが食事の際に、守るように気をつけているマナー

【全体】

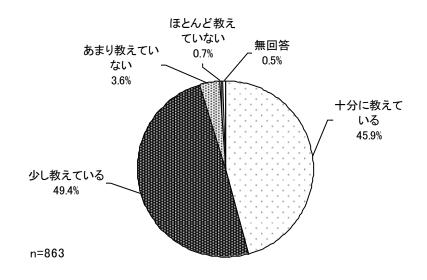
「『いただきます』 『ごちそうさま』と言う」が86.8%、「ひじをつかない」が75.2%となっている。



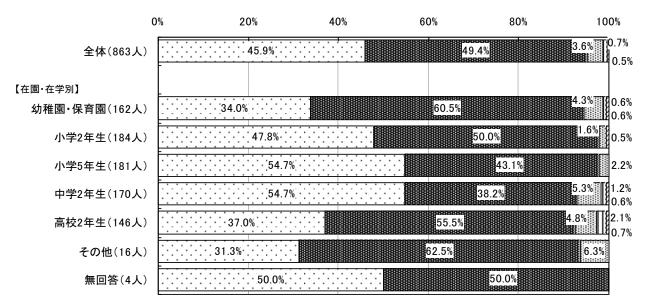
問13 子どもに食事のマナーを教えている保護者の割合

【全体】

「少し教えている」が49.4%、「十分に教えている」が45.9%となっている。



【在園在学別】

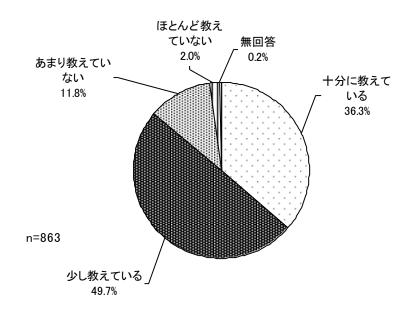


□十分に教えている ■少し教えている □あまり教えていない □ほとんど教えていない □無回答

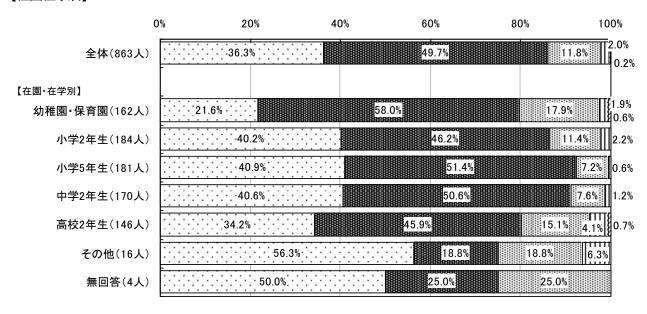
問14 子どもに食に対する感謝の心を教えている保護者の割合

【全体】

「少し教えている」が49.7%、「十分に教えている」が36.3%となっている。



【在園在学別】

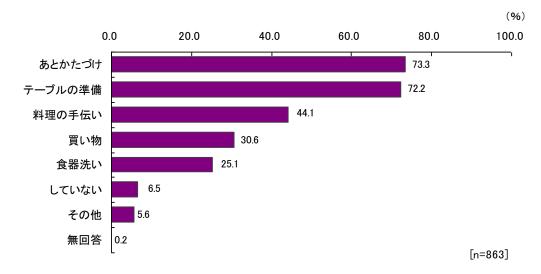


□十分に教えている ■少し教えている □あまり教えていない □ほとんど教えていない □無回答

問15 子どもにさせている食事の手伝い

【全体】

「あとかたづけ」が73.3%、「テーブルの準備」が72.2%となっている。

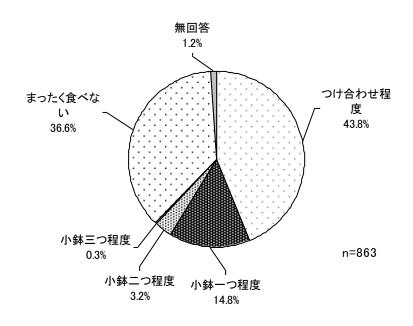


問16 子どもがふだんの食事で食べる野菜料理の量

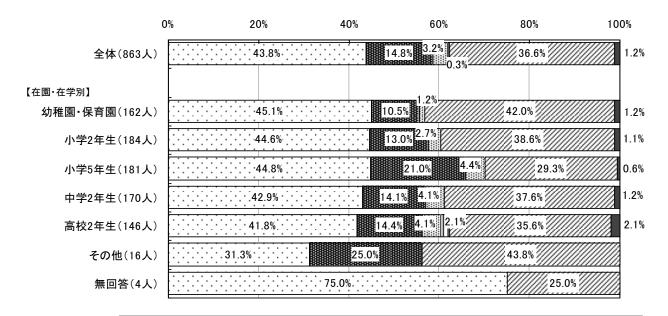
■朝食

【全体】

「つけ合わせ程度」が43.8%、「まったく食べない」が36.6%となっている。



【在園在学別】

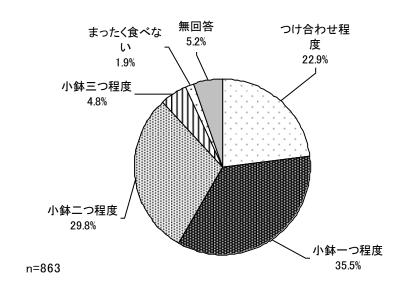


□つけ合わせ程度 ■小鉢一つ程度 □小鉢二つ程度 □小鉢三つ程度 □まったく食べない ■無回答

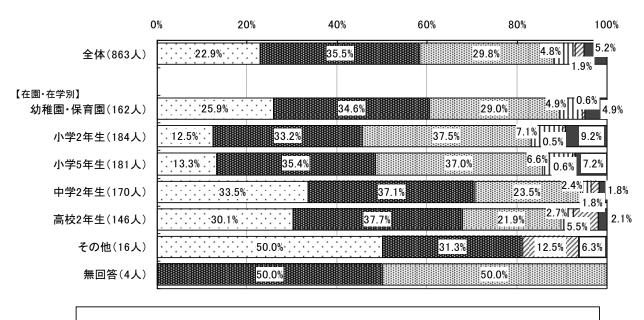
■昼食

【全体】

「小鉢一つ程度」が35.5%、「小鉢二つ程度」が29.8%となっている。



【在園在学別】

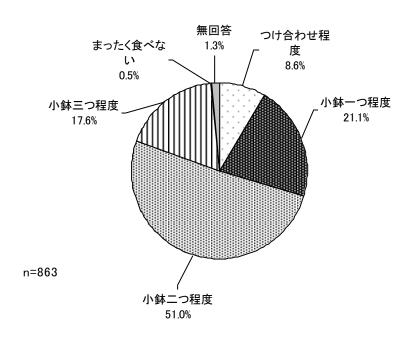


□つけ合わせ程度 圏小鉢一つ程度 🛛小鉢二つ程度 🗖 小鉢三つ程度 🖂 まったく食べない ■無回答

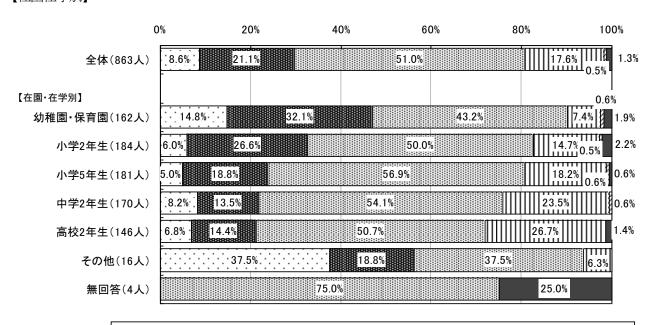
■夕食

【全体】

「小鉢二つ程度」が51.0%、「小鉢一つ程度」が21.1%となっている。



【在園在学別】

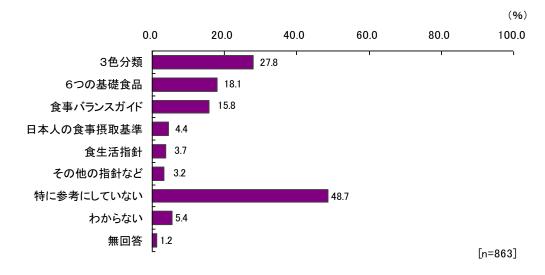


□つけ合わせ程度 ■小鉢一つ程度 □小鉢二つ程度 □小鉢三つ程度 □まったく食べない ■無回答

問17 家庭での健全な食生活を実践するため、保護者が参考にしている指針等

【全体】

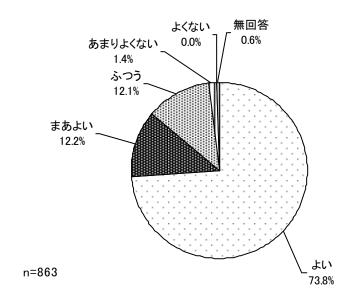
「特に参考にしていない」が48.7%、「3色分類」が27.8%となっている。

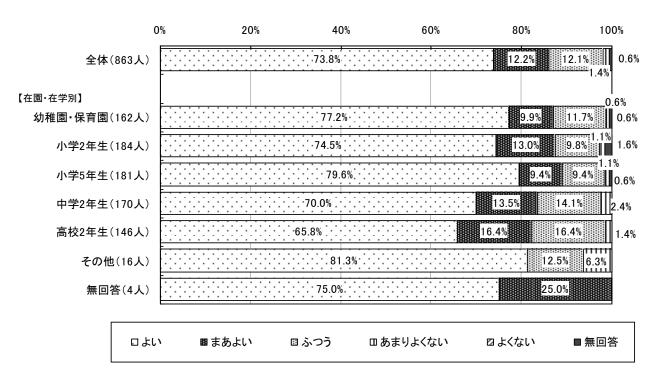


問 18 子どもの健康状態

【全体】

「よい」と「まあよい」を合わせると、86.0%が健康状態がよいと回答している。

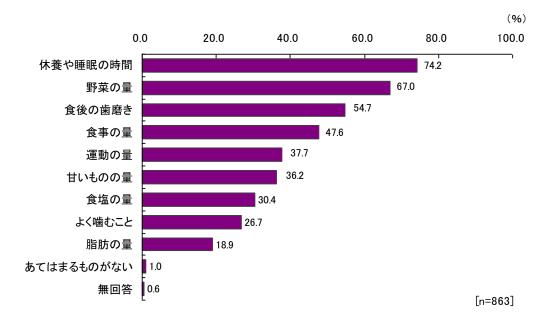




問19 子どもの健康のために、ふだんの生活で気をつけていること

【全体】

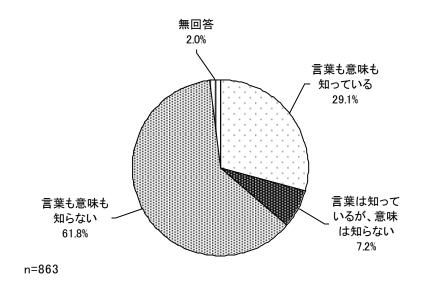
「休養や睡眠の時間」が74.2%、「野菜の量」が67.0%となっている。



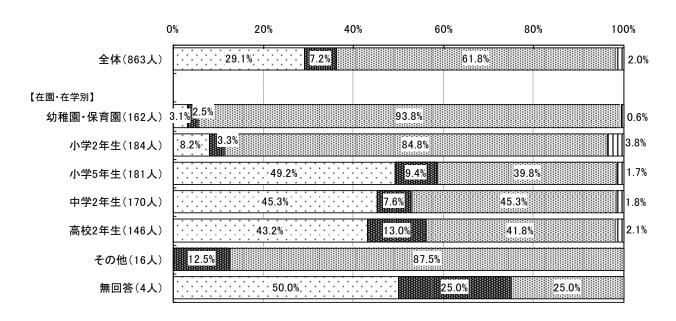
問20 子どもの地産地消の認知度

【全体】

「言葉も意味も知らない」が61.8%、「言葉も意味も知っている」が29.1%となっている。



【在園在学別】

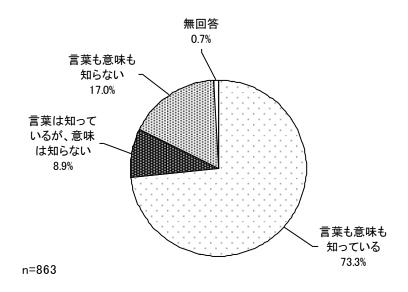


□ 言葉も意味も知っている ■ 言葉は知っているが、意味は知らない □ 言葉も意味も知らない □ 無回答

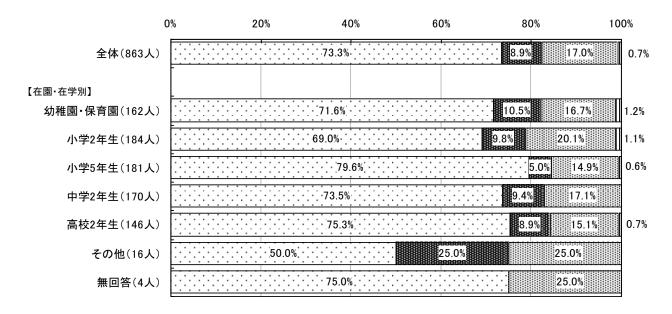
問 21 保護者の地産地消の認知度

【全体】

「言葉も意味も知っている」が73.3%、「言葉も意味も知らない」が17.0%となっている。



【在園在学別】

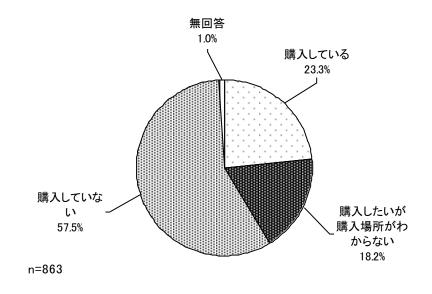


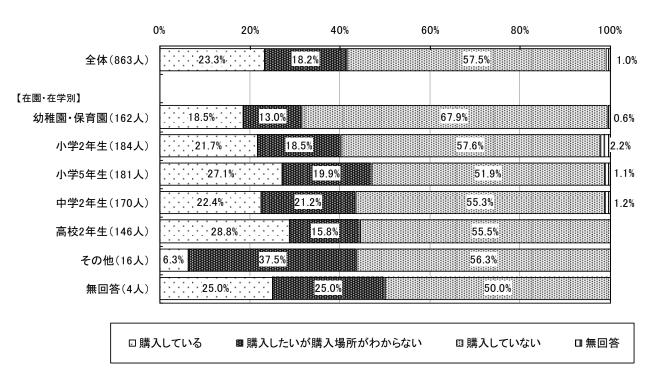
□ 言葉も意味も知っている ■言葉は知っているが、意味は知らない □ 言葉も意味も知らない □無回答

問22 町田産農産物(野菜・たまご・肉・乳製品など)を意識して購入している保護者の割合

【全体】

「購入していない」が57.5%、「購入している」が23.3%となっている。

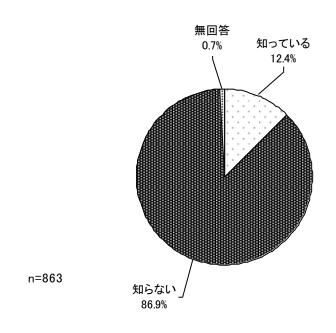


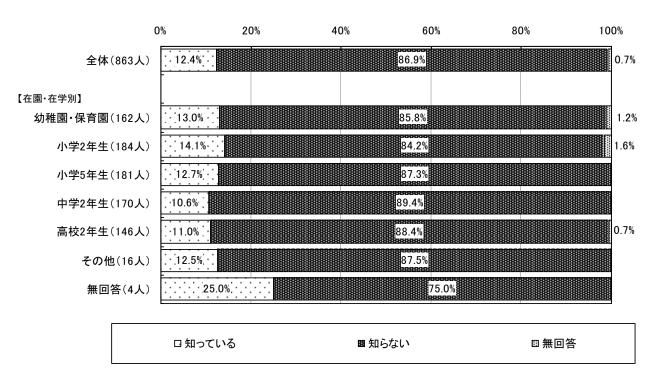


問23 町田産農産物シンボルマーク「まち☆ベジ」を知っている保護者の割合

【全体】

「知っている」が12.4%、「知らない」が86.9%となっている。

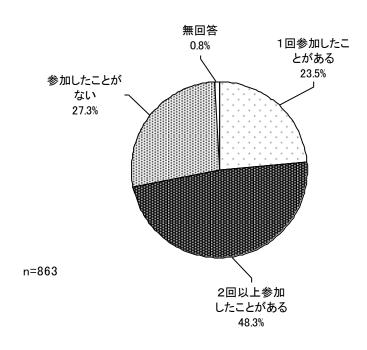


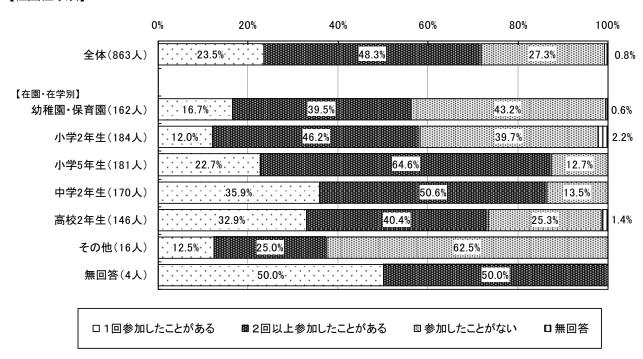


問24 子どもの農林漁業体験への参加回数

【全体】

「2回以上参加したことがある」が48.3%、「参加したことがない」が27.3%となっている。

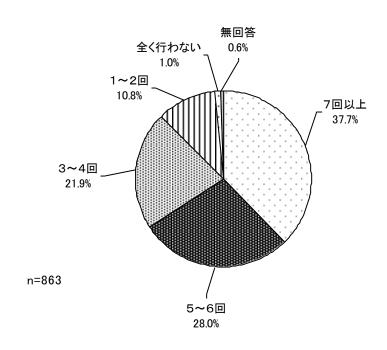


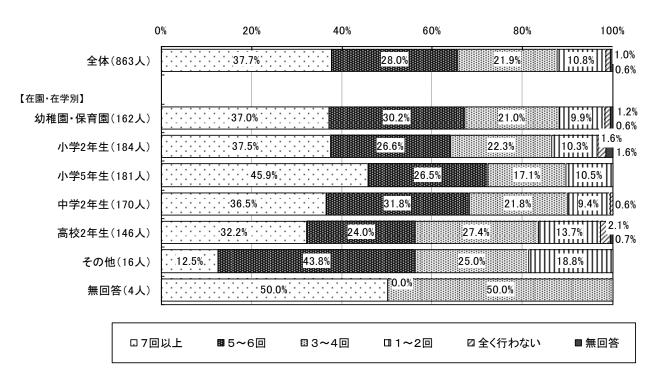


問25 自宅で、行事食を伴う伝統的な行事を行う回数(年間)

【全体】

「7回以上」が37.7%、「5~6回」が28.0%となっている。

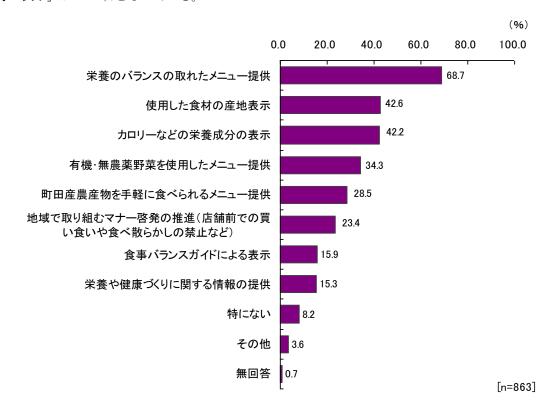




問26 飲食店など事業者に取り組んでほしいこと

【全体】

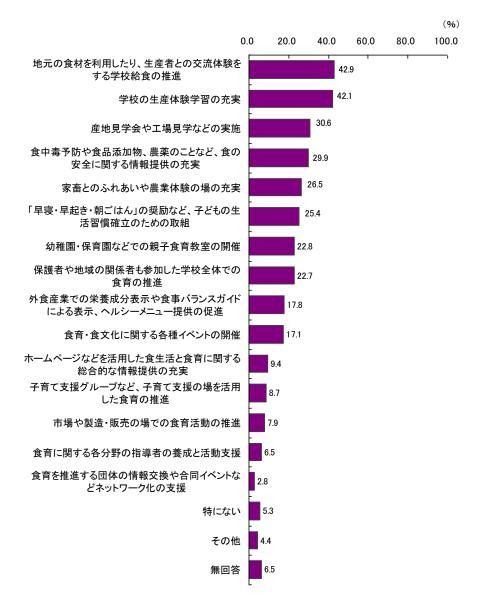
「栄養のバランスの取れたメニュー提供」が 68.7%、「使用した食材の産地表示」が 42.6%、「カロリーなどの 栄養成分の表示」が 42.2%となっている。



間27 市に重点的に取り組んでほしいこと

【全体】

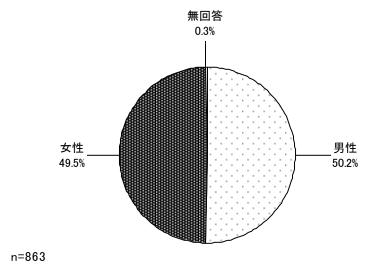
「地元の食材を利用したり、 生産者との交流体験をする学校 給食の推進」が42.9%、「学校の 生産体験学習の充実」が42.1%と なっている。



間28 子どもの性別

【全体】

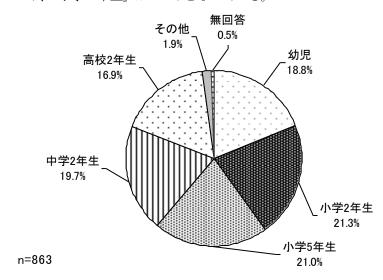
「男性」が50.2%、「女性」が49.5%となっている。



問29・30 子どもの年齢、在園・在学先

【全体】※問29・30をあわせてグラフを作成

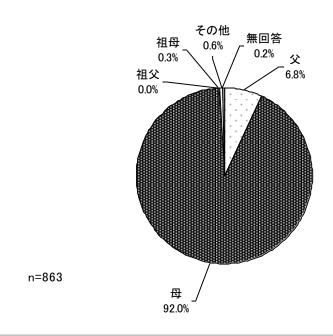
「小学2年生」が21.3%、「小学5年生」が21.3%となっている。



問31 記入者の属性

【全体】

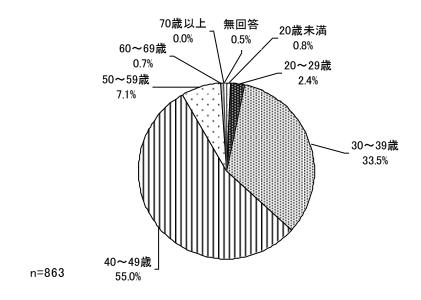
「母」が92.0%、「父」が6.8%となっている。



問32 保護者の年齢

【全体】

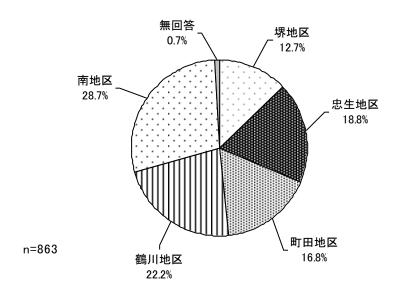
「40~49歳」が55.0%、「30~39歳」が33.5%となっている。



問33 居住地区

【全体】

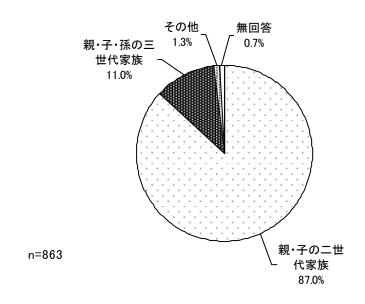
「南地区」が28.7%、「鶴川地区」が22.2%となっている。



問34 家族構成

【全体】

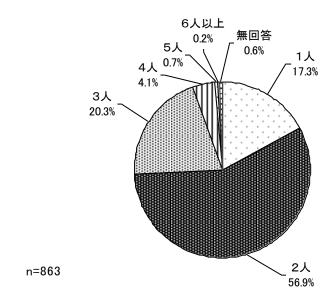
「親・子の二世代家族」が87.0%、「親・子・孫の三世代家族」が11.0%となっている。



問35 子どもの人数

【全体】

「2人」が56.9%、「3人」が20.3%となっている。



Ⅲ. 調査票

食で育むまちだの未来のためにあなたの声を、ぜひお聞かせください。

町田市の食育推進計画づくりに関するアンケート調査

- 調査ご協力のお願い -

日頃より市政にご協力とご理解を頂き深くお礼申し上げます。

私たちはこれまで、食を通して様々な知識を習得し、経験を重ね、地域に根ざした食生活を築いて参りました。しかし、時代の変化に伴い、食の安心・安全、孤食の増加、食文化の喪失など様々な問題がでてきています。また、健康、福祉、子育て、教育、農業、産業、環境などの分野においても様々な課題があり、それらを解決するために「食育」という視点で地域の方々と市が一体となり取り組んでいくことが求められています。

町田市では、現在策定中の「食育推進計画」の基礎資料とするため、食育アンケート 調査を実施いたします。市内にお住まいの 3,000 人の方を無作為に選びましたところ、 あなた様に回答をお願いすることとなりました。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨を十分ご理解いただき、ご協力くださいま すようよろしくお願い申し上げます。

2012年11月

町田市長 石阪 丈一

ご記入にあたって

○封筒のあて名の方ご本人がお答えください。

- ○回答は、答えの番号を○で囲むか、回答欄に回答をご記入ください。
- ○答えは「1つ」「3つまで」「いくつでも」などの指示に合わせてご記入ください。
- ○ご記入後は、同封の返信用封筒(切手は不要です)に入れていただき、<u>12月10日(月)までに</u>ご投函ください。
- 〇このアンケートは住民基本台帳より無作為抽出された方に送付させていただいております。 調査は無記名で行い、調査結果は統計的に処理するとともに、調査目的以外には利用いたしま せん。
- ◎この調査についてのお問い合わせは、下記へお願いします。

町田市いきいき健康部保健企画課 (町田市保健所)

電話 042-724-4241 FAX 050-3101-8202

I. あなたの食育に関する関心や知識などについてお聞きします

- 問1 あなたは、「食育」という言葉やその意味を知っていましたか。(〇は1つ)
 - 1. 言葉も意味も知っていた
- 2. 言葉は知っていたが、意味は知らなかった
- 3. 言葉も意味も知らなかった

【食育とは】

食育は、生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきものです。 様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を 実践することができる人間を育てることとされています。 (食育基本法前文より)

- 問2 あなたは「食育」に関心がありますか。(〇は1つ)
 - 1. 関心がある (→問3へ)

- 2. どちらかといえば関心がある(→問3へ)
- 3. どちらかといえば関心がない (→問4へ) 4. 関心がない (→問4へ)

5. わからない (→問4へ)

問2で「1. 関心がある」「2. どちらかといえば関心がある」とお答えの方にお聞きします。

- 問3 あなたが「食育」に関心がある理由は何ですか。(Oは3つまで)
 - 1. 子どもの心身の健全な発育のために必要だから
 - 2. 食生活の乱れ(栄養バランスの崩れ、不規則な食事など)が問題になっているから
 - 3. 肥満ややせすぎが問題になっているから
 - 4. 生活習慣病(がん、糖尿病など)の増加が問題になっているから
 - 5. BSEの発生など、食品の安全確保が重要だから
 - 6. 食にまつわる地域の文化や伝統を守ることが重要だから
 - 7. 食料を海外からの輸入に依存しすぎることが問題だから
 - 8. 消費者と生産者の間の交流や信頼が足りないと思うから
 - 9. 有機農業など自然環境と調和した食料生産が重要だから
 - 10. 大量の食べ残しなど食品廃棄物が問題だから
 - 11. 自然の恩恵や食に対する感謝の念が薄れているから
 - 12. 特にない
 - 13. その他 具体的に()
 - 14. わからない

問4 あなたは、食中毒予防の3原則「つけない、ふやさない、やっつける」を知っていますか。 (〇は1つ)

- 1. 知っていて、実践している
- 2. (日頃料理をする方) 知っているが、実践していない
- 3. (日頃料理をしない方) 知っているが、実践していない
- 4. 聞いたことはあるが、よく分からない
- 5. 聞いたことがない

【食中毒予防の3原則とは】

食中毒は、その原因となる細菌やウイルスが、食べ物に付着し、体内へ侵入することによって、発生します。食中毒を防ぐためには、細菌などを食べ物に「つけない(清潔)」、食べ物に付着した細菌などを「ふやさない(迅速)」「やっつける(加熱)」という3つのことが原則になります。

問5 あなたはふだん、食や食育に関する情報をどこから入手していますか。(Oはいくつでも)

1. テレビやラジオ

2. 新聞·書籍·雑誌

3. インターネット

4. 携帯サイト

5. 家族•友人

6. 市の広報

7. 特に入手していない

8. その他 具体的に(

)

)

問6 食や食育に関して、知りたい情報は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1. 食品の安全性
- 2. 栄養のバランスやカロリーなど
- 3. 妊産婦、乳幼児から高齢者まで、各年代に応じた食生活
- 4. 生活習慣病や子どもの肥満予防
- 5. 健康に配慮した料理のレシピや技術
- 6. 農業生産や加工食品の製造過程
- 7. 町田産の農産物(野菜・たまご・肉・乳製品など)
- 8. 季節の行事食や郷土料理など伝統的な食生活
- 9. 食事のマナー
- 10. 特にない
- 11. その他 具体的に(

1. 放射性物質を含む食品 2. 食品添加物 3. 残留農薬 4. 輸入食品 5. 食中毒 6. 偽装表示 7. 遺伝子組み換え食品 8. いわゆる健康食品 9. BSE(牛海綿状脳症) 10. その他 具体的に()	問7	安全な食生活を送るために、	あなたが知りたいと思う情報は何ですか。	(Oはいくつでも)
5. 食中毒 6. 偽装表示 7. 遺伝子組み換え食品 8. いわゆる健康食品	1	. 放射性物質を含む食品	2. 食品添加物	
7. 遺伝子組み換え食品 8. いわゆる健康食品	3	3.残留農薬	4. 輸入食品	
	5	5. 食中毒	6.偽装表示	
9. BSE (牛海綿状脳症) 10. その他 具体的に ()	7	1. 遺伝子組み換え食品	8. いわゆる健康食品	
	9). BSE(牛海綿状脳症)	10. その他 具体的に()

Ⅱ. あなたの食生活や、健康に関する意識と実践についてお聞きします

問8 あなたの、平日の「朝、起きる時間」と「夜、寝る時間」は何時ごろですか。(<u>枠の中に24</u> 時間表記で記入してください)

①朝、起きる時間	②夜	え、寝る時間	
時	分ごろ	時	分ごろ

問9 あなたは、ふだん朝食を食べますか。(Oは1つ)

- 1. ほとんど毎日食べる (→問11 へ)
- 2. 週に4~5日食べる (→問10へ)
- 3. 週に2~3日食べる (→問10~)
- 4. ほとんど食べない (→問 10 へ)

【「朝食を食べる」とは】

エネルギー源となる食べ物、飲み物を飲食した場合のことをいい、砂糖・ミルクを加えないお茶類(日本茶・コーヒー・紅茶など)、水及び錠剤・カプセル・顆粒状のビタミン・ミネラルしか取らない場合は、「朝食を食べた」ことにはなりません。

問9で<u>「2. 週に4~5日食べる」「3. 週に2~3日食べる」「4. ほとんど食べない」とお答えの方</u>にお聞きします。

問 10 朝食を食べない最も大きな理由は何ですか。(Oは1つ)

1. 時間がないから

- 2. 食欲がわかないから
- 3. 減量(ダイエット) したいから
- 4. 朝食が用意されていないから
- 5. 準備するのが面倒だから
- 6. 以前から食べる習慣がないから

7. その他 具体的に(

0. 外前から及べの目頂がないから

)

朗 11	あなたの平日の夕食開始時間は何時ごろですか。	(OI+10)
	めなたの半日の夕良用好時間は四時こうじょか。	(し)は ロン

1. 19 時前

2. 19~20 時台

3. 21~22 時台

4. 23時以降

5. 食べない

問12 あなたは、中食をどのくらい利用しますか。(〇は1つ)

- 1. ほぼ毎日(6~7日)
- 2. 週に4~5日
- 3. 週に2~3日
- 4. 週に1日
- 5. 月に2日程度
- 6. ほとんど中食はしない (または、まったくしない)

【中食とは】

弁当や惣菜など調理済みの料理を購入して家や職場などで食べる食事。また、出前、宅配などのこと。

問 13 あなたは、外食をどのくらい利用しますか。(Oは1つ)

- 1. ほぼ毎日(6~7日)
- 2. 週に4~5日
- 3. 週に2~3日
- 4. 週に1日
- 5. 月に2日程度
- 6. ほとんど外食はしない(または、まったくしない)

問 14 あなたは、ふだん誰と食事をすることが多いですか。 (Oは1つずつ)

		(ア)家族	(イ) 友人	(ウ)職場の人	(エ)地域の人	(オ)ひとりで	(カ)食べない
W	① 朝 食 (Oは一つ)						
平 	② 昼 食(〇は一つ)						
H	③ タ 食 (Oは一つ)						
4	① 朝 食 (Oは一つ)						
休 日	② 昼 食(〇は一つ)						
H	③ タ 食 (Oは一つ)						

問 15 あなたは、ふだんの食事時間が楽しいですか。(Oは1つ)

1. 楽しい

2. どちらかといえば楽しい

3. どちらともいえない

4. どちらかといえば楽しくない

5. 楽しくない

問 16 あなたは、食事の際に、守るように気をつけているマナーがありますか。(Oはいくつでも)

- 1. 「いただきます」「ごちそうさま」と言う 2. 食べ残さない
- 3. 茶わんやおわんを持って食べる
- 5. ひじをつかない
- 7. 食事中にテレビをつけない
- 9. 携帯電話を使わない
- 11. その他 具体的に(

- 4. はしの持ち方に気をつける
- 6. 音を立てないように食べる
 - 8. 新聞、雑誌などをみない
 - 10. 配膳や後片付けをする

問17 あなたは、ふだんの食事で野菜料理をどれくらい食べていますか。(Oは1つずつ)

	(ア)つけ合わせ程度	(イ)小鉢一つ程度	(ウ)小鉢二つ程度	(エ)小鉢三つ程度	(オ)まったく食べない
	[35 g]	[70g]	[140 g]	[210 g]	Ñ
① 朝 食 (Oは一つ)					
② 昼 食 (Oは一つ)					
③ タ 食 (Oは-つ)					

【野菜料理の例】



具たくさん味噌汁





酢の物

小鉢1つ程度[約70g]





)

野菜いため

小鉢2つ程度 [約140g]

問 18 あなたは、日頃の健全な食生活を実践するため、どのような指針などを参考にしていますか。 (Oは3つまで)

1. 食事バランスガイド

2. 食生活指針

3. 日本人の食事摂取基準

4. 6つの基礎食品

5. 3色分類

6. その他の指針など

7. 特に参考にしていない

8. わからない

【食生活上の指針などとは】

健全な食生活を実践するためには、国民一人ひとりが自分にとって必要な食事の量を把握し、 その人に適した食事をとることが必要であり、これにあたっては、下記のような食生活の指針な どを参考にすることが有効です。

「食事バランスガイド」:「何を」「どれだけ」食べたらよいかをわかりやすくコマで示したもの「食生活指針」:望ましい食生活を実践するための指針

「日本人の食事摂取基準」: 1日に必要なエネルギーや栄養素の摂取量の目安を示したもの

「6つの基礎食品」: 栄養成分の類似している食品を六群に分類したもの

「3色分類」: 食品の体内での主な働きを3つに分けて、主な食品を分類したもの

問 19 あなたは、ふだんの食事で主食・主菜・副菜を3つそろえて食べることが<u>1日に2回以上</u>あるのは、週に何日ありますか。(Oは1つ)

1. ほとんど毎日

2. 週に4~5日

3. 週に2~3日

4. ほとんどない

【主食とは】

米、パン、めん類などの穀類で、主として糖質エネルギーの供給源となるものです。

【主菜とは】

魚や肉、卵、大豆製品などを使った副食の中心となる料理で、主として良質たんぱく質や脂肪の供給源となるものです。

【副菜とは】

野菜などを使った料理で、主食と主菜に不足するビタミン、ミネラル、食物繊維などを補う 重要な役割を果たしています。

問 20 あなたは、ご自分の健康状態をどのように感じていますか。(Oは1つ)

1. よい

2. まあよい

3. ふつう

4. あまりよくない

5. よくない

- 問 21 あなたは、メタボリックシンドロームの予防・改善のために、ふだんの生活で心がけていることがありますか。(Oはいくつでも)
 - 1. 食べすぎないようにしている
 - 2. 塩分をとりすぎないようにしている
 - 3. 脂肪をとりすぎないようにしている
 - 4. 甘いものをとりすぎないようにしている
 - 5. 野菜をたくさん食べるようにしている
 - 6. よく噛むようにしている
 - 7. お酒を飲みすぎないようにしている
 - 8. 食後は歯磨きをするようにしている
 - 9. 運動をするようにしている
 - 10. 休養や睡眠を十分にとるようにしている
 - 11. 禁煙を心がけている
 - 12. あてはまるものがない

_____ 【メタボリックシンドロームとは】

「内臓脂肪が蓄積することによって、血圧、血糖が高くなったり、血中の脂質異常を起こしたりして、食事や運動などの生活習慣を改善しなければ、心筋梗塞や脳卒中などが起こりやすくなる状態」のことです。

- 問 22 あなたは、メタボリックシンドロームの予防や改善のために、①適切な食事、②定期的な運動、③週に複数回の体重計測、のいずれかを実践していますか。(〇は1つ)
 - 1. 実践して、半年以上継続している (→問 23 へ)
 - 2. 実践しているが、半年未満である (→問 23 へ)
 - 3. 時々気をつけているが、継続的ではない (→**問 24 へ**)
 - 4. 現在はしていないが、近いうちにしようと思っている (→問 24 へ)
 - 5. 現在していないし、しようとも思わない (→間 24 へ)

問 22 で<u>「 1. 実践して、半年以上継続している」「 2. 実践しているが、半年未満である」とお答</u>えの方にお聞きします。

問 23	現在も継続し	て宝珠」	ている	のけど	ムホニレで	すか ($(\cap H \cap A)$	つでも)
101 ZJ	TH 1 T T 1 WW WILL	, (4 (1, 10	ועאותנו	M	9 /	1 //4 // /	J (T) /

1. 適切な食事

2. 定期的な運動

3. 週に複数回の体重計測

4. その他 具体的に(

)

Ⅲ. 地産地消や行事食の実践度と食育に関わる地域での活動についてお聞きします

問 24 「地産地消」という言葉やその意味を知っていますか。(Oは1つ)

1. 言葉も意味も知っている

2. 言葉は知っているが、意味は知らない

3. 言葉も意味も知らない

[地産地消とは]

地域で生産された食料(農林水産物)を地域で消費しようという取組です。消費者と生産者の距離が近いため、「顔が見え、話ができる」と安心感が高まるほか、地域の農業と関連産業の活性化にもつながります。

問 25 あなたは、「町田産農産物(野菜·たまご·肉·乳製品など)」を意識して購入していますか。 (〇は1つ)

1. 購入している

2. 購入したいが購入場所がわからない

3. 購入していない

問26 あなたは、町田産農産物シンボルマーク「まち☆ベジ」を知っていますか。(Oは1つ)

1. 知っている

2. 知らない



問 27 ご自宅で、下記に示すような行事食を伴う伝統的な行事を年間にどの程度行なっていますか。 (〇は1つ)

1. 7回以上

2. 5~6回

3. 3~4回

4. 1~2回

5. 全く行わない

【行事食とは】

伝統的な行事と行事食には、次のようなものがあります。

・正月(1月:おせち、お雑煮、七草粥)・桃の節句(3月:ひな菓子、五目寿司など)

地方の数句(こり・もまれ、上しいの)

端午の節句(5月:ちまき、かしわ餅など)

・土用(7月:うなぎなど)

・十五夜(9月:月見団子など)

七五三(11月:ちとせ飴など)

・大晦日(12月: そばなど)

・節分(2月:まめ、イワシなど)

春分の日(3月:ぼた餅など)

・七夕(7月:素麺など)

・お盆(8月:団子など)

秋分の日(9月:おはぎなど)

冬至(12月:かぼちゃ料理など)

問 28 あなたは、住んでいる地域や地域の人々と交流がありますか。(Oは1つずつ)

	いる	(ア)よくして	ている	(イ)たまにし	もいえない	(ウ)どちらと	ていない	(エ)あまりし	いない	(オ)全くして
①近所付き合いなど地域の人々と 行き来がある										
②地域の取組やイベント(食に関するものに限らない)に参加している										

- 問 29 あなたは、食育の推進にかかわるボランティア活動に機会があれば参加してみたいとお考えですか。(Oは1つ)
 - 1.参加してみたい (<u>→問30 へ</u>)
- 2. 参加してみたいとは思わない (→問 31 へ)

)

【食育の推進に関するボランティア活動とは】

公民館や学校、地域のサークル活動などにおいて、食べ物や食事、食文化などに関わる様々な知識や技術について伝えたり教えたりする活動です。

問 29 で「1.参加してみたい」とお答えの方にお聞きします。

- 問30 どのような食育に関するボランティア活動に参加してみたいと思いますか。(Oは3つまで)
 - 1. 郷土料理、伝統料理などの食文化伝承活動
 - 2. 農林漁業などに関する体験活動
 - 3. 食生活の改善に関する活動
 - 4. 生活習慣病予防などのための料理教室
 - 5. 食品廃棄や食品リサイクルに関する活動
 - 6. 食品の安全や表示に関する活動
 - 7. 食育に関する国際交流活動
 - 8. その他 具体的に (
 - 9. 特にない
 - 10. わからない

- 問 31 飲食店など事業者に取り組んでほしいことは何ですか。(Oはいくつでも)
 - 1. カロリーなどの栄養成分の表示
 - 2. 栄養のバランスの取れたメニュー提供
 - 3. 使用した食材の産地表示
 - 4. 有機・無農薬野菜を使用したメニュー提供
 - 5. 食事バランスガイドによる表示
 - 6. 栄養や健康づくりに関する情報の提供
 - 7. 町田産農産物を手軽に食べられるメニュー提供
 - 8. 地域で取り組むマナー啓発の推進(店舗前での買い食いや食べ散らかしの禁止など)
 - 9. 特にない
 - 10. その他 具体的に (
- 問32 あなたは、健全で豊かな食生活の実現に向けて、食育を推進するために、町田市でどのようなことに重点的に取り組んでほしいですか。(〇は5つまで)
 - 1. 幼稚園・保育園などでの親子食育教室の開催
 - 2. 子育て支援グループなど、子育て支援の場を活用した食育の推進
 - 3.「早寝・早起き・朝ごはん」の奨励など、子どもの生活習慣確立のための取組
 - 4. 保護者や地域の関係者も参加した学校全体での食育の推進
 - 5. 地元の食材を利用したり、生産者との交流体験をする学校給食の推進
 - 6. ホームページなどを活用した食生活と食育に関する総合的な情報提供の充実
 - 7. 食中毒予防や食品添加物、農薬のことなど、食の安全に関する情報提供の充実
 - 8. 外食産業での栄養成分表示や食事バランスガイドによる表示、ヘルシーメニュー提供の促進
 - 9. 産地見学会や工場見学などの実施
 - 10. 家畜とのふれあいや農業体験の場の充実
 - 11. 学校の生産体験学習の充実
 - 12. 市場や製造・販売の場での食育活動の推進
 - 13. 食育・食文化に関する各種イベントの開催
 - 14. 食育を推進する団体の情報交換や合同イベントなどネットワーク化の支援
 - 15. 食育に関する各分野の指導者の養成と活動支援
 - 16. 特にない
 - 17. その他 具体的に (

最後に、あなたご自身についておたずねします。

問33 あなたの性別をお答え下さい。(Oは1つ)

1. 男性	2. 女性
問34 あなたの年齢は、おいくつですか。	。(<u>Oは1つ</u>)
1. 20~29 歳 2. 3	30~39 歳 3.40~49 歳
4. 50~59歳 5. (60~69 歳 6.70~79 歳
7. 80 歳以上	
BB 05 + +>+ 14	h (OH10)
問35 あなたは、どちらにお住まいです。	
1. 堺地区(相原町・小山町・小山ケ	
	田町・木曽町・木曽西・木曽東・下小山田町・図師町・忠
生・常盤町・根岸・根岸町・矢部	
	大谷・東玉川学園・中町・本町田・原町田・森野)
4. 鶴川地区(入蔵町・小野路町・玉 三輪緑山・薬師台・鶴川・野津田	:井・金井町・真光寺・真光寺町・広袴・広袴町・三輪町・ Transk: 4
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	高ヶ坂・つくし野・鶴間・成瀬・成瀬が丘・成瀬台・南つ
くし野・南成瀬)	
問36 あなたのお仕事は、この中のどれ	ですか。(<u>Oは1つ</u>)
1. 農業・商工自営	2.会社員・公務員・団体職員
3. 会社や団体などの法人役員	4. 専業主婦
5. 臨時職員・パート・アルバイト・	派遣社員 6. 学生
7. 無職	8. その他 具体的に ()
問37 あなたのご家族の構成は、この中の	のどれですか (Oは1つ)
1. 単身	のとれですか。(<u>Oは 1 ラ</u>) 2.夫婦のみ
1. 単身 3. 親·子の二世代家族	4. 親・子・孫の三世代家族
5. 祝・子の一 但10家族 5. その他 具体的に (
J(V)IIE - 共体的に ()
	ご協力いただきありがとうございました。

食で育むまちだの未来のためにあなたの声を、ぜひお聞かせください。

町田市の食育推進計画づくりに関するアンケート調査

- 調査ご協力のお願い -

日頃より市政にご協力とご理解を頂き深くお礼申し上げます。

私たちはこれまで、食を通して様々な知識を習得し、経験を重ね、地域に根ざした食生活を築いて参りました。しかし、時代の変化に伴い、食の安心・安全、孤食の増加、食文化の喪失など様々な問題がでてきています。また、健康、福祉、子育て、教育、農業、産業、環境などの分野においても様々な課題があり、それらを解決するために「食育」という視点で地域の方々と市が一体となり取り組んでいくことが求められています。

町田市では、現在策定中の「食育推進計画」の基礎資料とするため、食育アンケート調査を実施いたします。市内にお住まいの 3,000 人の方を無作為に選びましたところ、あなた様に回答をお願いすることとなりました。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨を十分ご理解いただき、ご協力くださいま すようよろしくお願い申し上げます。

2012年11月

町田市長 石阪 丈一

ご記入にあたって

- ○封筒の宛名のお子さんについて、お子さんにも聞きながら、保護者の方がお答えください。
- ○回答は、答えの番号を○で囲むか、回答欄に回答をご記入ください。
- ○答えは「1つ」「いくつでも」などの指示に合わせてご記入ください。
- 〇ご記入後は、同封の返信用封筒(切手は不要です)に入れていただき、<u>12月10日(月)までに</u> ご投函ください。
- 〇このアンケートは住民基本台帳より無作為抽出された方に送付させていただいております。 調査は無記名で行い、調査結果は統計的に処理するとともに、調査目的以外には利用いたしま せん。
- ◎この調査についてのお問い合わせは、下記へお願いします。

町田市いきいき健康部保健企画課 (町田市保健所)

電話 042-724-4241 FAX 050-3101-8202

問1 あなたの<u>お子さんの、</u>平日の「朝、起きる時間」と「夜、寝る時間」は何時ごろですか。(<u>枠</u>の中に24時間表記で記入してください)

 ①朝、起きる時間

 時

 分ごろ

(2	沙仪、	授る時	前		
			曲		分ごろ

問2 あなたのお子さんは、ふだん朝食を食べますか。(Oは1つ)

- 1. ほとんど毎日食べる (→問4へ)
- 2. 週に4~5日食べる (→問3へ)
- 3. 週に2~3日食べる (→問3へ)
- 4. ほとんど食べない (→問3へ)

【「朝食を食べる」とは】

エネルギー源となる食べ物、飲み物を飲食した場合のことをいい、砂糖・ミルクを加えないお茶類(日本茶・コーヒー・紅茶など)、水及び錠剤・カプセル・顆粒状のビタミン・ミネラルしか取らない場合は、「朝食を食べた」ことにはなりません。

問2で<u>「2. 週に4~5日食べる」「3. 週に2~3日食べる」「4. ほとんど食べない」とお答えの方</u>にお聞きします。

問3 あなたのお子さんが、朝食を食べない最も大きな理由は何ですか。(Oは1つ)

1. 時間がないから

2. 食欲がわかないから

3. 減量(ダイエット) したいから

4. 朝食が用意されていないから

5. 自分で準備するのが面倒だから

6. 以前から食べる習慣がないから

7. その他 具体的に(

)

問4 あなたの**お子さんの、**平日の夕食開始時間は何時ごろですか。(〇は1つ)

1. 19 時前

2. 19~20 時台

3. 21~22 時台

4. 23 時以降

5. 食べない

問5 あなたのお子さんは、中食をどのくらい利用しますか。(Oは1つ)

- 1. ほぼ毎日(6~7日)
- 2. 週に4~5日
- 3. 週に2~3日
- 4. 週に1日
- 5. 月に2日程度
- 6. ほとんど中食はしない (または、まったくしない)

【中食とは】

弁当や惣菜など調理済みの料理を購入して家や職場などで食べる食事。また、出前、宅配などのこと。

問6 あなたの**お子さんは、**外食をどのくらい利用しますか。(Oは1つ)

- 1. ほぼ毎日(6~7日)
- 2. 週に4~5日
- 3. 週に2~3日
- 4. 週に1日
- 5. 月に2日程度
- 6. ほとんど外食はしない(または、まったくしない)

【外食とは】

レストランなどへ出かけてする食事のこと。保育園、幼稚園、学校などでの給食・お弁 当は含みません。

問7 あなたの**お子さんは、**ふだん誰と食事をすることが多いですか。(〇は1つずつ)

			が一緒) が一緒)	もだけ) べる (子ど	る の人と食べ の人と食べ	食べる	(才)食べない
平	① 朝	食 (Oは一つ)					
日	② 昼	食 (Oは一つ)					
	③ タ	食 (Oは一つ)					
休	① 朝	食 (Oは一つ)					
日	② 昼	食 (Oは一つ)					
	③ タ	食 (Oは一つ)					

問8 あなたのお子さんは、食事の時間を楽しんでいますか。(Oは1つ)

1. 楽しんでいる

2. どちらかといえば楽しんでいる

- 3. どちらともいえない
- 4. どちらかといえば楽しんでいない

5. 楽しんでいない

問9 **あなたは、**ふだんの食事時間が楽しいですか。(Oは1つ)

1. 楽しい

2. どちらかといえば楽しい

3. どちらともいえない

4. どちらかといえば楽しくない

5. 楽しくない

問 10 **あなたは、**「食育」という言葉やその意味を知っていましたか。(Oは1つ)

1. 言葉も意味も知っていた

- 2. 言葉は知っていたが、意味は知らなかった
- 3. 言葉も意味も知らなかった

【食育とは】

食育は、生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきものです。 様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を 実践することができる人間を育てることとされています。(食育基本法前文より)

問 11 **あなたは、**「食育」に関心がありますか。(Oは 1 つ)

1. 関心がある

- 2. どちらかといえば関心がある
- 3. どちらかといえば関心がない
- 4. 関心がない

5. わからない

問 12 あなたの**お子さんは、**食事の際に、どのようなマナーを守るように気をつけていますか。 (Oはいくつでも)

- 1. 「いただきます」「ごちそうさま」と言う 2. 食べ残さない
- 3. 茶わんやおわんを持って食べる
- 5. ひじをつかない
- 7. 食事中にテレビをつけない
- 9. 携帯電話を使わない
- 11. その他 具体的に(

- 4. はしの持ち方に気をつける
- 6. 音を立てないように食べる
- 8. 新聞、雑誌などをみない
- 10. 配膳や後片付けをする

問 13 **あなたは、**あなたのお子さんに、食事のマナーについて教えていますか。(Oは1つ)

1. 十分に教えている

2. 少し教えている

3. あまり教えていない

4. ほとんど教えていない

問 14 **あなたは、**あなたのお子さんに、食に対する感謝の心を教えていますか。(〇は1つ)

1. 十分に教えている

2. 少し教えている

3. あまり教えていない

4. ほとんど教えていない

【食に対する感謝の心とは】

食物を大事にし、食物の生産などに関わる人々へ感謝する心を持つことです。食生活は 生産者をはじめ多くの人々の苦労や努力に支えられていること、食料の生産はすべて自然 の恩恵の上に成り立っていること、感謝の気持ちの表れとして残さず食べたり無駄なく調 理したりすること、などを日ごろから伝えていく必要があります。

問 15 **あなたは、**あなたのお子さんに、家でどんな食事の手伝いをさせていますか。

(Oはいくつでも)

)

1. 買い物

2. 料理の手伝い

3. テーブルの準備

4. あとかたづけ

5. 食器洗い

6. していない

7. その他 具体的に(

102

問 16 あなたのお子さんは、ふだんの食事で野菜料理をどれくらい食べていますか。

(Oは1つずつ)

	(ア)つけ合わせ程度 g [35g]	(イ)小鉢一つ程度 70g]	(ウ)小鉢二つ程度 [140g]	(エ)小鉢三つ程度 [210g]	(オ)まったく食べない
① 朝 食 (Oは一つ)					
② 昼 食 (Oは一つ)					
③ タ 食 (Oは一つ)					

【野菜料理の例】

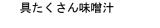


おひたし





酢の物



煮物



野菜いため

小鉢1つ程度[約70g]

小鉢2つ程度 [約140g]

- 問17 あなたは、家庭での健全な食生活を実践するため、どのような指針などを参考にしています か。(Oは3つまで)
 - 1. 食事バランスガイド
 - 3. 日本人の食事摂取基準
 - 5. 3色分類
 - 7. 特に参考にしていない

- 2. 食生活指針
- 4. 6つの基礎食品
- 6. その他の指針など
- 8. わからない

【食生活上の指針などとは】

健全な食生活を実践するためには、国民一人ひとりが自分にとって必要な食事の量を把握し、 その人に適した食事をとることが必要であり、これにあたっては、下記のような食生活の指針な どを参考にすることが有効です。

「食事バランスガイド」: 「何を」「どれだけ」食べたらよいかをわかりやすくコマで示したもの 「食生活指針」: 望ましい食生活を実践するための指針

「日本人の食事摂取基準」: 1日に必要なエネルギーや栄養素の摂取量の目安を示したもの

「6つの基礎食品」: 栄養成分の類似している食品を六群に分類したもの

「3色分類」: 食品の体内での主な働きを3つに分けて、主な食品を分類したもの

問 18	あなたの <u>お子さんは、</u> ど	のような健康状態です	か。 (<u>Oは1つ</u>)
1.	よい	2.	まあよい
3.	ふつう	4.	あまりよくない
5.	よくない		

問 19 **あなたは、**あなたのお子さんの健康のために、ふだんの生活で気をつけていることは何ですか。

(<u>Oはいくつでも</u>)

1. 食事の量

3. 脂肪の量

5. 野菜の量

7. 食後の歯磨き

9. 休養や睡眠の時間

2. 食塩の量

4. 甘いものの量

6. よく噛むこと

8. 運動の量

10. あてはまるものがない

問 20 あなたの<u>お子さんは、</u>「地産地消」という言葉やその意味を知っていますか。(<u>〇は1つ</u>)

1. 言葉も意味も知っている

2. 言葉は知っているが、意味は知らない

3. 言葉も意味も知らない

[地産地消とは]

地域で生産された食料(農林水産物)を地域で消費しようという取組です。消費者と生産者の距離が近いため、「顔が見え、話ができる」と安心感が高まるほか、地域の農業と関連産業の活性化にもつながります。

問 21 **あなたは、**「地産地消」という言葉やその意味を知っていますか。(〇は1つ)

1. 言葉も意味も知っている

2. 言葉は知っているが、意味は知らない

3. 言葉も意味も知らない

問 22 **あなたは、「**町田産農産物(野菜・たまご・肉·乳製品など)」を意識して購入していますか。 (〇は1つ)

1. 購入している

2. 購入したいが、購入場所がわからない

3. 購入していない

問 23 あなたは、町田産農産物シンボルマーク「まち☆ベジ」を知っていますか。(Oは1つ)

1. 知っている

2. 知らない



問 24 あなたのお子さんは、これまで、田植えや稲刈り、農産物の収穫をするなど、農林漁業体験に参加したことがありますか。(〇は1つ)

- 1. 1回参加したことがある
- 2. 2回以上参加したことがある

3. 参加したことがない

問 25 **あなたは、**ご自宅で下記に示すような行事食を伴う伝統的な行事を年間にどの程度行なって いますか。(<u>Oは1つ</u>)

1. 7回以上

2. 5~6回

3.3~4回

4. 1~2回

5. 全く行わない

【行事食とは】

伝統的な行事と行事食には、次のようなものがあります。

・正月(1月:おせち、お雑煮、七草粥) ・桃の節句(3月:ひな菓子、五目寿司など)

端午の節句(5月:ちまき、かしわ餅など)

土用(7月:うなぎなど)

・十五夜(9月:月見団子など)

七五三(11月:ちとせ飴など)

・大晦日(12月: そばなど)

・節分(2月:まめ、イワシなど)

春分の日(3月:ぼた餅など)

・七夕(7月:素麺など)

• お盆(8月:団子など)

・秋分の日(9月:おはぎなど)

冬至(12月:かぼちゃ料理など)

- 問 26 **あなたは、**健全で豊かな食生活の実現に向けて、食育を推進するために、飲食店など事業者に取り組んでほしいことは何ですか。(<u>Oはいくつでも</u>)
 - 1. カロリーなどの栄養成分の表示
 - 2. 栄養のバランスの取れたメニュー提供
 - 3. 使用した食材の産地表示
 - 4. 有機・無農薬野菜を使用したメニュー提供
 - 5. 食事バランスガイドによる表示
 - 6. 栄養や健康づくりに関する情報の提供
 - 7. 町田産農産物を手軽に食べられるメニュー提供
 - 8. 地域で取り組むマナー啓発の推進(店舗前での買い食いや食べ散らかしの禁止など)
 - 9. 特にない
 - 10. その他 具体的に(
- 問 27 **あなたは、**健全で豊かな食生活の実現に向けて、食育を推進するために、町田市でどのようなことに重点的に取り組んでほしいですか。(〇は5つまで)
 - 1. 幼稚園・保育園などでの親子食育教室の開催
 - 2. 子育て支援グループなど、子育て支援の場を活用した食育の推進
 - 3.「早寝・早起き・朝ごはん」の奨励など、子どもの生活習慣確立のための取組
 - 4. 保護者や地域の関係者も参加した学校全体での食育の推進
 - 5. 地元の食材を利用したり、生産者との交流体験をする学校給食の推進
 - 6. ホームページなどを活用した食生活と食育に関する総合的な情報提供の充実
 - 7. 食中毒予防や食品添加物、農薬のことなど、食の安全に関する情報提供の充実
 - 8. 外食産業での栄養成分表示や食事バランスガイドによる表示、ヘルシーメニュー提供の促進
 - 9. 産地見学会や工場見学などの実施
 - 10. 家畜とのふれあいや農業体験の場の充実
 - 11. 学校の生産体験学習の充実
 - 12. 市場や製造・販売の場での食育活動の推進
 - 13. 食育・食文化に関する各種イベントの開催
 - 14. 食育を推進する団体の情報交換や合同イベントなどネットワーク化の支援
 - 15. 食育に関する各分野の指導者の養成と活動支援
 - 16. 特にない
 - 17. その他 具体的に ()

最後に、あなたのお子さんやご家庭についておたずねします。

問 28	あなたのお子さんの性別をお	3答え下さい。(<u>(</u>	<u>)は1つ</u>)		
1	. 男性		2. 女性		
問 29	あなたのお子さんの年齢を	お答えください	。(<u>枠の中に記</u>	入してください)	
	F-	: T			
			歳		
問 30 あなたのお子さんは、どちらに在園・在学ですか。(Oは1つ)					
1.	幼稚園		2. 保育園		
3.	小学校		4. 中学校		
5.	高等学校		6. その他 具	体的に()
問 31 お子さんから見て、あなた(<u>この調査票を記入された方</u>)は、下記のどれにあたりますか。					
μ) σ ι	83 1 6 10 13 13 16 6 18 18 16		<u> </u>		は1つ)
1.	父		2. 母		
	祖父		4. 祖母		
	その他 具体的に(`	7. IAI		
3 .	ての他(具体的に))			
問 32 あなたの年齢は、おいくつですか。(<u>Oは1つ</u>)					
1	. 20 歳未満	2. 20~29歳		3.30~39歳	
4	. 40~49 歳	5.50~59歳		6.60~69歳	
7	. 70 歳以上				

問33 あなたは、どちらにお住まいですか。(Oは1つ)

- 1. 堺地区(相原町・小山町・小山ヶ丘)
- 2. 忠生地区(小山田桜台・上小山田町・木曽町・木曽西・木曽東・下小山田町・図師町・忠生・常盤町・根岸・根岸町・矢部町・山崎・山崎町)
- 3. 町田地区(玉川学園・旭町・南大谷・東玉川学園・中町・本町田・原町田・森野)
- 4. 鶴川地区(大蔵町・小野路町・金井・金井町・真光寺・真光寺町・広袴・広袴町・三輪町・ 三輪緑山・薬師台・鶴川・野津田町・能ヶ谷)
- 5. 南地区(小川・金森・金森東・高ヶ坂・つくし野・鶴間・成瀬・成瀬が丘・成瀬台・南つくし野・南成瀬)

問34 あなたのご家族の構成は、この中のどれですか。(Oは1つ)

1. 親・子の二世代家族

2. 親・子・孫の三世代家族

)

3. その他 具体的に (

問35 あなたのお子さんは、何人ですか。(Oは1つ)

1. 1人

2. 2人

3. 3人

4. 4人

5. 5人

6. 6人以上

ご協力いただきましてありがとうございました。

町田市の食育推進計画づくりに関するアンケート調査 報告書

2013年12月発行

発 行:町田市

〒194-8520 町田市森野2-2-22

編 集:町田市いきいき健康部 保健企画課

電 話:042-724-4241 FAX:050-3101-8202